

平成26年度 社会福祉法人 上田市社会福祉協議会事業報告書

自 平成26年4月 1日

至 平成27年3月31日

1 法人運営事業

(1) 法人運営事業

ア 理事会、評議員会

理事会	第 35 回 26. 5. 29	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度事業報告及び一般会計・公益事業特別会計決算について ・平成 26 年度一般会計第 1 次補正予算について
	第 36 回 26. 6. 2	<ul style="list-style-type: none"> ・正副会長の選任について ・常務理事の指名について ・顧問の委嘱について ・資金運用責任者の任命について
	第 37 回 26. 10. 8	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度一般会計第 2 次補正予算について
	第 38 回 27. 3. 27	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度一般会計・公益事業特別会計第 3 次補正予算について ・事務局組織の改正について ・平成 27 年度事業計画（案）及び資金収支予算（案）について ・交代に伴う評議員の選任について ・定款の一部変更について ・苦情解決第三者委員の選任について
評議員会	第 21 回 26. 5. 1	<ul style="list-style-type: none"> ・理事、監事の選任について
	第 22 回 26. 5. 29	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度事業報告及び一般会計・公益事業特別会計決算について ・平成 26 年度一般会計第 1 次補正予算について
	第 23 回 27. 3. 27	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度一般会計・公益事業特別会計第 2 次補正予算について ・平成 26 年度一般会計・公益事業特別会計第 3 次補正予算について ・事務局組織の改正について ・平成 27 年度事業計画（案）及び資金収支予算（案）について ・交代に伴う理事の選任について ・定款の一部変更について

イ 会 議 信州上田医療センター地域医療諮問委員会、県長寿社会開発センター
上小支部運営委員会、監査、正副会長会、市町村事務局長会議、民生委

員・児童委員協議会役員会及び地区定例会、地区社協正副会長会議、介護保険関係会議 他

ウ ブロック会議 上小ブロック連絡会議、上小ボランティア交流研究集会実行委員会、上小ブロック社協職員研修会 他

エ 研 修 会 社会福祉トップセミナー、市町村社協役職員研修会、人権を考える市民の集い、地域福祉推進リーダー推進事業会議、社協経理研修会、日常生活自立支援事業専門員・支援員研修会、日常生活自立支援事業推進会議、上小圏域介護保険事業者連絡協議会、介護支援専門員研修会、苦情対応システム研修会 他

オ 職員研修 ビジネスマナー研修会、新人職員研修会、正規職員研修会、臨時・嘱託・パート職員研修会、介護・包括関係者職員研修会、係長級職員研修会、上田市社協職員経理研修会

職員有資格者数

資格の種類	人 数
社会福祉士	22 人
介護福祉士	27 人
主任介護支援専門員・介護支援専門員	28 人
保健師・看護師	12 人
教諭・保育士	67 人

カ 視 察 等 滋賀県大津市社会福祉協議会へ視察訪問

キ 大 会

(ア) 上田市社会福祉大会

11月5日(水) 上田市民会館 参加者 約800人

内 容 ○式典…表彰者 39人、5団体・感謝状 2人、1団体

○寸劇…「困ったら、包括支援センターへ」

出演者 上田市社会福祉協議会職員

○記念講演…「地域之力」

講 師 堀田 力 氏 (公益財団法人さわやか福祉財団会長・弁護士)

(イ) 長野県社会福祉大会

9月10日(水) 茅野市民館マルチホール (茅野市塚原 1-1-1)

上田市から 35人参加 (県下から 769人参加)

内 容 ○大会式典、表彰、共同募金に対する謝辞、実践報告

表彰者 (上田市のみ)

社会福祉功労者表彰：神尾みち子、上島美起子、竹内聖浄、増田宗彦

社会福祉活動表彰：春原哲子、絵手紙サークルひまわり

長野県共同募金会会長表彰：上田市手をつなぐ育成会

○講演

『経験 ー辛さにも恵まれ、幸せにも恵まれるー』

ク 社協会費

上田市社会福祉協議会は、会費会員制を導入しており、市民の皆様から納入していただいた会費を地域福祉活動に活用した。

会費種類	26年度社協会費納入実績		25年度 納入実績	24年度 納入実績
	金額	備考	金額	金額
普通会費	23,448,165円	44,321世帯	23,322,230円	23,303,332円
特別会費	2,348,000円	2,318人	2,565,000円	2,758,000円
法人会費	2,147,000円	355法人	1,877,000円	1,753,000円
団体会費	122,000円	76団体	141,000円	99,000円
合計	28,065,165円		27,905,230円	27,913,332円

ケ 資金貸付

低所得者、高齢者、障がい者を対象に資金の貸付と必要な援助指導を行うことにより、世帯の自立と更生に努めた。

(ア) 総合支援資金

この資金は失業等により生計の維持が困難になった世帯に対して、再就職までの生活資金として貸付けるものである。

(イ) 福祉資金

この資金は多くの世帯の自立更生に活用されている。

貸付状況

資金種類		相談件数	貸付件数	貸付額
総合支援資金	上田地区	62件	0件	0円
	丸子地区	1件	0件	0円
	真田地区	1件	0件	0円
	武石地区	0件	0件	0円
	合計	64件	0件	0円
福祉資金	上田地区	197件	7件	516,000円
	丸子地区	12件	4件	280,000円
	真田地区	1件	0件	0円
	武石地区	0件	0件	0円
	合計	210件	11件	796,000円

教育支援資金	上田地区	46件	3件	2,601,000円
	丸子地区	1件	0件	0円
	真田地区	0件	0件	0円
	武石地区	0件	0件	0円
	合計	47件	3件	2,601,000円
合計		321件	14件	3,397,000円

コ 苦情解決第三者委員会

(ア) 委員会

開催日時 6月26日(木)

開催場所 上田市ふれあい福祉センター 1階 役員室

(イ) 平成26年度苦情対応システム研修会

【松本会場】

開催日時 11月5日(水)

開催場所 塩尻市総合文化センター

【長野会場】

開催日時 11月19日(水)

開催場所 長野市若里市民文化ホール

(2) 善意銀行

個人、団体、法人等の皆さんから、金品を御寄付いただき、社会福祉活動に役立たせていただきました。

金銭寄付

月	日	金額(円)	氏名	備考
4	3	650	匿名	
4	15	7,826	生活改善グループうえだ	東日本大震災義援金
4	23	3,600	塩尻手づくな班有志	上田ボランティア連絡協議会へ
5	2	1,000	酒井昭水	
5	16	14,210	伊藤美津子	
6	11	10,700	上田山草会	
8	5	10,000	学校法人上田学園 上田西高等学校	
8	18	41,413	ビューティサロンさつき	AED購入
8	28	17,082	西塩田夏祭り実行委員会	塩田西小学校へ
9	12	49,750	長野県ソフトクリーム衛生協会 上小支部	

9	17	100,000	合葉啓・千恵子	
10	6	17,388	丸子ゴルフ大会実行委員会	
10	14	100,000	匿名	
11	17	135,000	日信フェア IN 上田実行委員会	
11	17	100,000	東京丸子会	
11	28	30,000	匿名	
12	4	20,000	日本キリスト教団 上田新参町協会	
12	5	21,400	丸子山野草クラブ	
12	5	347,651	上田市赤十字奉仕団	歳末チャリティーバザー売上 白馬村、南木曾、木曾町へ義援金
12	8	40,500	長野県理容生活衛生同業組合 上小支部	
12	11	320,641	ふれあい広場 in さなだ実行委員会	
12	15	22,101	匿名	福島県南相馬市 10,000 円 長野県白馬村 12,101 円
12	15	84,787	さくら国際高等学校	塩田地区のために (塩田小学校 3 校に本の寄付)
12	17	8,895	第 12 教区曹洞宗青年会	
12	19	50,000	匿名	
12	19	15,237	匿名	
12	26	10,000	ダンスサークルステップアップ	長瀬市民センターへ
12	26	10,000	ダンスサークル MSW	丸子地区センターへ
1	22	76,350	長野労働金庫丸子支店運営委員会	
2	17	5,596	橋詰伯美	上田市社会就労センター武石事業所 へ
2	24	30,000	竹の会	白馬村へ義援金
2	27	30,000	上田西ロータリークラブ	
3	3	19,586	上田四中別府組卒業生	原峠保養園へ
3	6	18,540	上田友の会	
3	24	75	上田市立豊殿小学校	
合計		1,769,978		

物品寄付

月	日	物 品	氏 名	備 考
4	3	車いす・電動車いす	心の花美術館	
4	22	紙おむつ	田村裕	
4	24	未使用切手	新田長生会カソこすもす	上田ボランティア地域活動センターへ払出し

5	8	電動ハット	匿名	
5	12	パソコン用プリンター	匿名	高齢者福祉センターへ
5	16	紙おむつ	匿名	丸子包括、丸子介護相談センターへ
5	29	未使用はがき 書き損じはがき 未使用切手	新田長生会カソこすもす	上田ボランティア地域活動センターへ払出し
6	17	電動ハット	匿名	中央デイサービスセンターへ
6	19	車いす	匿名	
6	24	おむつ、尿取りパット 身体・おしり拭き、パジャマ	西嶋由行	
6	27	未使用はがき 未使用切手	新田長生会カソこすもす	上田ボランティア地域活動センターへ
6	27	タオル 31 枚	佐々木徹	Eキャップの会へ
7	2	おむつ、尿取りパット	高柳静	
7	11	タオル 50 枚	佐々木徹	Eキャップの会へ
7	15	紙おむつ 3 袋 肌着 4 枚	匿名	
7	18	尿取りパット 1 袋	匿名	
7	24	未使用切手	新田長生会カソこすもす	上田ボランティア地域活動センターへ
7	25	福来朗マスコット 100 個	Chiku 竹庵	デイサービスセンター「やすらぎ」へ
8	1	下着 4 枚、上着 2 枚	匿名	介護相談センターへ
8	4	紙おむつ 3 袋	匿名	介護相談センターへ
8	18	古切手、はがき ペットボトルのふた	ビューティサロンさつき	上田ボランティア地域活動センターへ
8	21	紙おむつ 1 袋 尿取りパット 7 袋	匿名	介護相談センターへ
8	28	未使用切手	新田長生会カソこすもす	上田ボランティア地域活動センターへ
9	4	32 型液晶テレビ (テレビ台付)	匿名	
9	9	パストボール無料プレー券 パストボールスコア	日本パストボール協会	地域福祉に尽力いただいている方へ
9	16	精米 2 表	匿名	原峠保養園へ
9	19	尿取りパット 4 袋	匿名	
9	24	タオル 70 本	匿名	
9	25	未使用はがき 書き損じはがき	新田長生会カソこすもす	上田ボランティア地域活動センターへ
9	25	手作りおてだま 30 個	Chiku 竹庵	デイサービスセンター「やすらぎ」へ
10	7	タオル 31 枚、下着 4 枚 靴下 2 枚、Tシャツ 1 枚 お手拭き 2 枚	匿名	
10	7	雑巾 24 枚	神川老人クラブ連合会	
10	15	紙おむつ 12 袋	板谷正美	介護相談センターへ
10	16	こたつ布団 3 セット	小野博子	介護相談センターへ
10	23	お米 1.5 俵	匿名	神川デイサービスセンター、中央デイサービスセンターへ

10	29	未使用切手	新田長生会カソこすもす	上田ボランティア地域活動センターへ
11	11	洗剤 9 箱	匿名	
11	25	ソーラー LED ライト 2 個 ケアスロープ	美し信州建設 (株)	舞田館、わっこ倉弁へ
11	27	紙おむつ 13 パック	北村秀子	
11	27	毛布 6 枚、タオルケット 1 枚 掛布団 4 枚	ぼうやま敬老園	
11	28	未使用切手	新田長生会カソこすもす	上田ボランティア地域活動センターへ
12	2	紙おむつ 1 袋	鈴木秀一郎	介護相談センターへ
12	4	雑巾 14 枚	つくし(おたっしや教室)	
12	8	新タオル 30 枚 古タオル 78 枚 雑巾 15 枚	長野県理容生活衛生同業 組合 上小支部	
12	8	車いすスロープ	匿名	
12	10	トレットペーパー 372 ロール	上田第二中学校	
12	10	尿取りパット 19 袋 紙おむつ 13 枚 吸水シート 2 枚	匿名	介護相談センターへ
12	10	米 60 kg	匿名	
12	15	紙おむつ 1 箱 紙シート 1 パック 紙パット 1 袋	鋒城恵美子	介護相談センターへ
12	19	米 30 kg	匿名	
12	22	紙おむつ 8 袋	匿名	
12	22	未使用、書き損じはがき 36 枚	新田長生会カソこすもす	上田ボランティア地域活動センターへ
12	24	紙おむつ 3 袋、肌着 20 袋	滝沢幸子	
12	24	車いす 2 台	「小さな親切」運動 上田支部	ボランティアセンターへ
12	24	車いす 20 台	上田市立第二中学校	福祉事業所へ
1	16	絵本 96 冊	株式会社バリューブックス	川辺町児童センターへ
1	20	下着(長袖 5 枚、半袖 3 枚)、スラックス 1 枚、パンツ型 下着 1 枚	匿名	まいさぼ、介護相談センターへ
1	23	女性肌着 3 枚 ストッキング 6 枚 ショーツ 2 枚	匿名	
1	28	未使用、書き損じはがき 39 枚	新田長生会カソこすもす	上田ボランティア地域活動センターへ
2	12	タオル 24 枚	トラスコ中山 (株) 上田支店	介護相談センターへ
2	17	車いす 1 台	上田ライオンズクラブ	
2	23	車いす 1 台	金剛寺自治会金剛寺活 性化委員会	神川テニールビスセンターへ
2	18	マッサージ機 2 台	匿名	真田老人センターへ
2	25	マグネットバイク(自転車)	匿名	真田老人センターへ

3	26	未使用切手 18 枚 書損じはがき 8 枚	新田長生会カンこすもす	上田ボランティア地域活動センターへ
3	26	車いす 1 台 福祉体験用品 70 点	上田市丸子地区赤十字 奉仕団・上田連合婦人会 (丸子)	
合計		1,178,774		

金銭寄付合計 1,769,978 円

物品寄付合計（金額換算） 1,178,574 円

寄付合計 2,948,552 円

1 法人運営事業の評価等

平成 26 年度の事業計画に基づき、地域福祉を推進する中核的な団体として、福祉に関する日々の生活上の諸問題を、地域全体の問題としてとらえ、その解決に向け、福祉諸団体、NPO 法人、ボランティア等の幅広い関係者との連携・協働のもと住民主体の福祉のまちづくりを推進していくために行動指針を“あったかい 心あふれる 協働のまち”とし、豊かな福祉社会の実現のために努めた。

会費会員制を導入し、広く市民の方々に福祉に御賛同いただき社協会員という形をとおして地域での福祉活動を支えていただいた。今年度は、商工会議所の名簿を基に約 3,000 社に新規法人会員入会依頼をした。社協の活動に御賛同いただき、新たに 59 社の入会申込みがあった。特別会員が年々減少傾向にあるため、社協の事業や会費の趣旨を御理解いただくようにしていく。

生活福祉資金貸付事業に関して、相談者は複雑・多様な状況にある方が多いため関係機関と連携し相談者の生活の安定につながるよう努めた。

償還については、初回から滞納となるケースも多くあるため初回の滞納が発生した時に電話連絡や訪問、呼び出しによる償還指導を行った。不動産担保型生活福祉資金の借受人に対する見守りの強化をしていくため、分割送金時に長野県社会福祉協議会から借受人宛に送られてくる「資金交付のお知らせ」を持参しながら借受人の見守り訪問をした。

今後も住民主体のコミュニティづくりを目指すとともに住民の期待に対応できる組織活動の充実、職員の資質向上により一層努めます。

2 企画・広報事業

(1) 広報事業

ア 「社協うえだ」の発行

社協のPRとして、また福祉に関する情報源として、福祉講座やイベントの開催、また各地域で行われている福祉活動の様子などを偶数月に発行し、市内全世帯をはじめ、学校関係や社協法人会員の皆さまへ毎回 58,000 部を配布しお知らせした。

イ 「社協うさたまニュース」の放映

社協で行っている事業や支部社協で行われている様々な福祉活動の様子を地域に密着した地元ケーブルテレビ放送（上田ケーブルビジョン、丸子テレビ放送）を利用して、毎月1回、15分の番組として広報紙だけでは伝えきれない生の声をお伝えした。

ウ 「社協ホームページ」の活用

トップページのデザインを一新し、社協が行う各種福祉サービスをはじめ、ボランティア情報、社協職員の募集等、様々な情報を発信した。また、ホームページ上でうさたまニュースが見られるように新たに動画ファイルを設置した

エ 「うさたま着ぐるみ」の活用

うえだ市民ふれあい広場、ふれあい広場 in さなだ、上田わっしょい、上田市社会福祉大会等において市民とふれあった。

オ 「上田市社協オリジナルカレンダー」の作成

うさたまをテーマにしたカレンダーを作成し、自治会をはじめ、関係機関や社協法人会員へ1,200部配布した。

カ エンディングノート「絆」の販売及びセミナーの開催

販売数	460冊		
書き方セミナー	5月15日(木)	真田地区センター	参加者 28人
	9月17日(水)	川西公民館	参加者 13人
	11月10日(月)	丸子ふれあいステーション	参加者 28人
	2月26日(木)	上野ヶ丘公民館	参加者 39人

キ うさたまグッズの作成

うさたまオリジナルクリアファイル2,000枚を作製し、ふれあい広場や研修会等で配布した。

2 企画・広報事業の評価等

社協は、地域における公益的な福祉活動を推進している組織であり、安心と信頼のブランドとして市民から信任されるような広報紙作りを目指している。予算、決算の開示や社協会費、共同募金については、法人運営の透明性を図るため紙面上で報告をした。また、支部社協の福祉推進の参考となるよう特長的な取り組みをしている自治会の活動を取り上げた。ホームページは、デザインを一新し、動画による事業紹介やお知らせをタイムリーに伝えた。うさたまニュースでは、社協の事業や、自治会の取り組みを毎月ケーブルテレビで放映した。

また、エンディングノート「絆」の書き方セミナーを市内各所で開催し、市民へPRをした。

3 地域福祉推進事業

(1) 希望の旅事業

日ごろ外出する機会の少ない心身障がい者とその介護者が、さまざまな土地の季節や風土、伝統を肌で感じ、また多くの人々とふれあい、社会参加することで生きがいを高め、より豊かで潤いのある生活を送ることを目的に実施した。

- 第1回 期 日 10月9日(木)、10日(金)
場 所 静岡県方面(長岡温泉、富士山五合目、伊豆・三津シーパラダイス)
参加者 21人(障がい者11人、介護者6人、同行者4人)
- 第2回 期 日 11月6日(木)、11月7日(金)
場 所 静岡県方面(長岡温泉、富士山五合目、伊豆・三津シーパラダイス)
参加者 23人(障がい者10人、介護者9人、同行者4人)

(2) 上田市ファミリー・サポート・センター事業

上田市ファミリー・サポート・センター事業とは、子育ての手助けをして欲しい人と子育てのお手伝いをしたい方が会員として登録し、子育ての相互援助を有償で行う会員組織で、日常的な子育てのお手伝いのほか、子育てに関する講習会や会員相互の交流を深めるための交流会等も開催している。

ア 会員数

依頼会員 502人

(上田市在住又は市内に勤務している方で、概ね3ヶ月から12歳の子どもをお持ちの方)

提供会員 217人

(上田市在住で心身ともに健康で乳幼児及び児童の保育に熱意があり、自宅で子どもを預れる方)

両方会員 106人

(依頼・提供会員の両方出来る方)

イ 年間事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
活動回数	95回	55回	52回	85回	103回	106回	140回
活動時間	99.5時間	68.5時間	53時間	91時間	101時間	81.5時間	124.5時間
利用会員数	15人	12人	10人	15人	16人	13人	16人
	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
活動回数	97回	95回	90回	96回	131回	1,145回	
活動時間	70.5時間	95時間	83時間	90.5時間	92.5時間	1,050.5時間	
利用会員数	15人	12人	13人	17人	19人	173人	

ウ 研修会及び会員交流会の開催

(ア) 前期講習会

期 日 5月15日(木)、16日(金)、21日(水)、22日(木) 13:00~15:30

受講者 75人(延べ人数)

内 容 ファミリー・サポート・センターの説明、子どもの遊び、チャイルドシートの着用、子どもの事故と安全対策、子どもの食事・健康管理、子どもの身体の発達と病気、子どもの心の成長とその背景、保育の心・子どもの世話、サブリーダーとの交流

(イ) 前期 全体交流会

期 日 7月5日(土) 10:00~12:00

参加者 29人

内 容 千曲公園・岩鼻散策

(ウ) フォローアップ研修会

期 日 2月18日(水) 10:00~12:00

参加者 26人

内 容 急なおう吐と下痢の対処法
新聞紙を使った子ネコの工作

(エ) 後期講習会

期 日 10月15日(水)、16日(木)、22日(水)、23日(木) 13:00~15:30

受講者 84人(延べ人数)

内 容 ファミリー・サポート・センターの説明、子どもの遊び、チャイルドシートの着用、子どもの事故と安全対策、子どもの食事・健康管理、子どもの身体の発達と病気、子どもの心の成長とその背景、保育の心・子どもの世話、サブリーダーとの交流

(オ) 後期全体交流会

期 日 11月29日(土) 10:00~12:00

参加者 29人

内 容 フォークダンス

(カ) 地区交流会

城下地区

期 日 6月18日(水) 10:00~12:00

参加者 11人

内 容 ビスケット作り

塩田地区

期 日 9月4日(木) 10:00~12:00

参加者 11人

内 容 体組成測定、運動指導

中央地区

期 日 7月10日(木) 10:00~12:00

参加者 9人

内 容 簡単カレーパン作り

丸子・武石地区

期 日 6月17日(火) 10:00~12:00

参加者 5人

内 容 ラベンダースティック作り

神科地区

期 日 6月26日(木) 10:00~12:00

参加者 9人

内 容 運動指導士による運動

真田地区

期 日 11月11日(火) 10:00~12:00

参加者 10人

内 容 海苔巻き作り

(3) 福祉推進事業

ア 地区社協住民会議

地区社協住民会議は、地域住民が主体となって様々な問題を協議し、住民が相互に地域福祉に関心と理解を深め、福祉のまちづくりを目指すために開催されるものである。

地区	期日	場所	内容
東部	10月30日(木)	東部地区防災センター	講演「いきいき健康ライフ」
南部	11月26日(水)	南部地区防災センター	講演「成年後見制度を知ろう」
中央	11月13日(木)	海野町会館	講演「社会福祉活動の現状と今後について」
北部	11月7日(金)	魚よし	講演「認知症について知ろう 認知症に関する知識、予防、支援について」
西部	4月25日(金)	西部地区公民館	講演「信州上田医療センターの現状について」
城下	10月23日(木)	城下地区防災センター	講演「高齢になっても脳と健康を維持するコツ」
塩尻	3月23日(月)	塩尻地区公民館	講演 「上田市社会福祉協議会の事業と役割について」

川辺泉田	10月22日(水)	上田原自治会館	講演「介護保険制度・デイサービスの内容 ～どんな時どんな介護を受けられるか～」
神川	10月18日(土)	神川地区公民館	講演「認知症の人と介護者家族の人権 ～支えるために私たちができること～」
神科	9月21日(日)	上野が丘公民館	講演「信州上田医療センターの現状について」 事例発表
豊殿	11月9日(日)	豊殿地域自治センター	講演「地域の元気を支える健康づくり」
塩田	11月10日(月)	塩田公民館	実践発表「地域の防災力をアップしよう ～自然災害から自分を守ろう～」
川西	10月23日(木)	川西公民館	講演「自然災害への備えと対応について」
丸子	11月13日(木)	丸子文化会館	演習「地域の防災力をアップしよう！ 避難所運営ゲームHUG」
真田	10月25日(土)	真田中央公民館	講演「上田市社会福祉協議会の事業について」 災害訓練「防災クロスロード」
武石	11月22日(土)	武石公民館	講演「高齢者を狙う悪質商法の手口とその対処法」

(4) 点字・声の広報発行事業

市広報・議会だより、社協報の内容を点訳やテープへの録音により、視覚障がい者へ情報提供した。

ア 点字広報

広報うえだ(月2回発行)	利用者	17人
議会だより(年4回発行)	利用者	10人
社協うえだ(隔月発行)	利用者	29人
丸子自治センターだより	利用者	13人

イ 声の広報

広報うえだ(月2回発行)	カセット	利用者	17人	
		CD	利用者	15人
議会だより(年4回発行)	カセット	利用者	23人	
		CD	利用者	8人
社協うえだ(隔月発行)		利用者	36人	

(5) 日常生活自立支援事業

ア 日常生活自立支援事業

上小管内を対象に、認知症の高齢者や障がい者の方々に、判断能力が十分でない方が、住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、福祉サービスの利用などに関わる相談や援助、また日常的な金銭管理のお手伝いをし、自立生活を支援した。

内 容	延件数
認知症のお年寄りに関する相談	588 件
知的に障がいのある方に関する相談	1,056 件
精神に障がいのある方に関する相談	1,252 件
その他（成年後見制度に関する問合わせ等）	11 件
専門員訪問調査回数	53 回
生活支援員援助回数	1,239 回
新規契約数	24 件
解約件数	6 件
事業開始からの契約件数	157 件
事業開始からの解約件数	94 件
現在の利用者数	63 件

イ 金銭管理・財産保全サービス

高齢者や障がい者の方々が地域で安心して日常生活を送れるように、日常的な金銭管理サービスや書類をお預かりし、生活の支援をした。

契約件数

上田地区センター	4 件
丸子地区センター	5 件
真田地区センター	0 件
武石地区センター	2 件

(6) 地域ふれあい事業

地域のさまざまな人々がお互いに助けあい交流することにより、住民の連帯感を高めそれぞれの地域の特性に応じた福祉サービスを住民参加により自主的に推進し、明るく活力ある福祉社会を創造し、近隣のつながりを補うことを目的として事業を実施した。

なお、この事業は、「ふれあいのまちづくり事業」として平成3年度から平成7年度までの5年間は、国の指定を受けて事業を進めました。指定終了後も、市の補助事業となり、平成15年から「敬老行事自治会委託事業」と統合され、名称が「地域ふれあい事業」となり、現在に至っている。

ア 自治会福祉活動の推進

<上田地区センター>活動内容

世代間交流	…… 90 自治会	調査活動	…… 3 自治会
マップ作り・更新	…… 17 自治会	広報・啓発活動	…… 12 自治会
福祉講座・健康講座	…… 50 自治会	茶話会	…… 49 自治会

会食会	……100 自治会	給食サービス	…… 8 自治会
交流会(児童)	…… 22 自治会	友愛訪問	…… 27 自治会
ボランティア活動	…… 6 自治会	施設視察・ボランティア	… 12 自治会
敬老会	……134 自治会	サロン・交流	…… 71 自治会
子育て支援	…… 3 自治会	環境整備	…… 43 自治会
その他	…… 70 自治会		

〈丸子地区センター〉活動内容

世代間交流	…… 26 自治会	マップ作り・更新	…… 4 自治会
福祉講座・健康講座	…… 15 自治会	茶話会	…… 8 自治会
会食会	…… 20 自治会	給食サービス	…… 10 自治会
友愛訪問	…… 17 自治会	ボランティア活動	…… 1 自治会
施設視察・ボランティア	… 3 自治会	敬老会	…… 23 自治会
サロン・交流	…… 26 自治会	子育て支援	…… 8 自治会
環境整備	…… 12 自治会	その他	…… 14 自治会

〈真田地区センター〉活動内容

世代間交流	…… 4 自治会	マップ作り・更新	…… 1 自治会
福祉講座・健康講座	…… 36 自治会	茶話会	…… 3 自治会
会食会	…… 17 自治会	交流会(児童)	…… 8 自治会
友愛訪問	…… 21 自治会	施設訪問	…… 19 自治会
敬老会	…… 14 自治会	サロン	…… 36 自治会
子育て支援	…… 1 自治会	その他	…… 28 自治会

〈武石地区センター〉活動内容

世代間交流	…… 8 自治会	広報・啓発活動	…… 1 自治会
福祉講座・健康講座	…… 2 自治会	会食会	…… 5 自治会
交流会(児童)	…… 2 自治会	友愛訪問	…… 1 自治会
敬老会	…… 11 自治会	サロン・交流	…… 14 自治会
環境整備	…… 3 自治会	その他	…… 5 自治会

イ 住民支え合いマップづくりの取組み

住民支え合いマップは、地図上に災害時に高齢者や障がい者などで避難行動に支援が必要となる方々、いわゆる「要援護者」や、要援護者を支援する「支援者」、避難所、などの

地域の資源などの情報を記載することにより、災害時に要援護者の安否確認、避難や支援を迅速に行うための手段として活用するものである。

また、住民支え合いマップの作成活動を通じて、地域内で支援を必要としている人を把握することで、日常的な地域でどんな支え合いができるかなどを考え、地域の福祉向上の視点からもその活用が期待されるものである。

平成 26 年度は、災害時要援護者登録制度に申し込みをした自治会と上田市と協働し、制度の説明会や支援班会議、更新作業を行った。今後、全自治会での住民支え合いマップ完成と新たな支え合いの仕組み作りのため、事業を展開していく。

住民支え合いマップ作成実施自治会

災害時要援護者登録制度説明会開催自治会数	20 自治会 (合計 208 自治会)
協定書締結自治会数	14 自治会 (合計 152 自治会)
住民支え合いマップ完成自治会数	11 自治会 (合計 162 自治会)

ウ 福祉推進委員

「地域ふれあい事業」の推進役として福祉推進委員を各自治会から推薦いただき社協会長が委嘱している。自治会役員、民生委員・児童委員と共に地域の実情に応じた様々な福祉活動を行っている。

- ・福祉推進委員連絡協議会 6月5日(木)、2月9日(月)
- ・福祉推進委員全体研修会 7月3日(木)
- ・福祉推進委員講習会
レクリエーション講座 3回
7月19日(土) 上田ふれあい福祉センター
7月31日(木) 上田創造館
8月9日(土) 丸子ふれあいステーション
物づくり講座 3回
8月23日(土) 丸子ふれあいステーション
9月2日(火) 上田創造館
9月13日(土) 上田ふれあい福祉センター

(7) 上小圏域成年後見支援センター事業

平成 24 年 4 月から上田市、東御市、長和町、青木村の 4 市町村から委託され、上小圏域成年後見支援センターを開設した。認知症・精神障がい・知的障がいなどにより判断能力の不十分な住民が安心して地域で生活できるように成年後見制度の利用促進及び啓発を行い、成年後見制度支援体制の構築し、住民の権利擁護を推進した。

- (1) 住民、実務者等からの成年後見制度に関する相談・手続き支援及び行政職員等からの成年後見制度に関する相談・市町村長申立支援

ア 相談件数及び相談者の状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	1 新規	14	14	10	9	10	20	12	12	13	19	11	13	157
	2 継続	47	33	41	33	28	30	46	50	44	68	52	92	564
	合計(延べ件数)	61	47	51	42	38	50	58	62	57	87	63	105	721
	3 法人後見業務	36	31	19	26	27	19	21	15	21	19	25	31	290
	総合計	97	78	70	68	65	69	79	77	78	106	88	136	1011
方法別	1 来所	10	6	9	6	9	17	10	12	14	29	15	22	159
	2 電話	37	22	18	17	20	14	25	27	21	37	24	51	313
	3 訪問	11	16	19	16	6	14	15	14	13	13	21	28	186
	4 ケース会議	3	3	5	3	3	5	8	9	9	8	3	4	63
	合計	61	47	51	42	38	50	58	62	57	87	63	105	721
対象者別	1 認知症高齢者	16	21	19	14	13	27	29	30	24	45	32	29	299
	2 知的障がい者	1	5	4	6	5	2	8	3	8	11	12	20	85
	3 精神障がい者	8	4	15	14	7	6	8	6	11	19	7	21	126
	4 身体障がい者	2	2	0	1	4	0	5	12	1	2	0	0	29
	5 複合	10	1	3	5	5	0	3	0	8	1	2	6	44
	6 任意後見	2	1	4	0	0	2	2	3	0	2	0	0	16
	7 その他	22	13	6	2	4	13	3	8	5	7	10	29	122
	合計	61	47	51	42	38	50	58	62	57	87	63	105	721

(2) 成年後見制度等の普及、啓発

説明会、講師依頼 16件
参加者 547人

(3) 市民後見人の養成

①市民後見人養成講座 オリエンテーション

開催日 平成26年6月30日(月)
開催場所 上田市ふれあい福祉センター
内容 成年後見制度の概要、市民後見人の役割について
参加者 67人

②市民後見人養成講座

開催日 平成26年9月1日(月)から10月16日(木)
開催場所 長野大学 他
内容 成年後見制度の基礎を学ぶ、対象者を理解する、後見人の実務を学ぶ他
参加者 34人

(4) 成年後見人等第三者後見人の紹介・支援

弁護士、司法書士、行政書士、社会福祉士 他 43件

(5) 法人後見の受任

法人後見 2件を新規に受任(現在 合計で4件受任中)

(8) “まいさぼ上田” 上田生活・就労支援センター事業

平成27年4月からの「生活困窮者自立支援法」施行に向け、個々の生活困窮者の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援の実施と、地域における自立・就労支援体制の構築を図るこ

とが全国的に求められている。長野県では法施行による新たな生活困窮者自立制度への円滑な移行を目的に、長野県社会福祉協議会に委託して県内6地域でモデル事業を実施した。当上田地域では長野県社会福祉協議会と上田市社会福祉協議会の共同運営により、上田市ふれあい福祉センター内に「上田生活・就労支援センター“まいさぼ上田”」を4月21日に開設し、主任相談支援員を兼ねた所長1人と4人の相談就労支援員を配置し、東信地域全体を対象に生活困窮者に対する相談・支援を行ってきた。

ア 相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
新規相談者数	36人	19人	48人	31人	29人	26人	
実相談者数	36人	31人	73人	69人	66人	73人	
延べ相談件数	67件	219件	335件	365件	326件	412件	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談者数	26人	10人	28人	24人	19人	20人	316人
実相談者数	69人	49人	62人	72人	56人	72人	728人
延べ相談件数	388件	296件	328件	336件	343件	360件	3,775件

3 地域福祉推進事業の評価等

誰もが住み慣れた地域で、安心して生活できるよう成年後見制度をはじめとする権利擁護事業の実施の他、地域ふれあい事業や住民支え合いマップ作成事業、ファミリー・サポート・センター事業などにおいては住民参加のもと社協と協働で行い地域の福祉力の向上や共助の精神の醸成につながっている。

地域住民からの課題を汲み上げ、より一層地域に密着したサービス提供を目指し、地域と共に活動していく重要性を感じている。また、地域との連携が、社協会費・共同募金など社協の財政面での支えにつながっていけるように、日々努力を重ね事業周知や理解に努めたい。

平成26年度は、各自治会から取り組み状況の報告書を取り纏め「地域ふれあい事業事例集」を作成し、関係機関に配布した。

平成27年度の「生活困窮者自立支援法」施行に先駆け上田市においてもモデル事業として“まいさぼ上田”を開設し、東信地区の生活困窮者の相談支援を行った。寄り添い型の相談を基本とし、行政やハローワークなどの窓口への同行支援やひきこもりや就労経験のない者、長期失業者等に対して、興味検査や履歴書の書き方指導などを行い就労に結び付くよう努めた。また、フードバンクの協力による食糧支援を行った。

モデル事業の実施を通して、関係機関や地域に対して一定程度の周知と理解が図られたと考えているが、本来が情報弱者である生活困窮者を対象とした事業であることから、更なる周知活動への取り組みが今後も必要と考える。

この一年の相談支援事業を通して、就労支援や年金取得等を中心とした収入面の支援は一定程度の成果を上げることができたが、もう一方の家計支出に対する支援については、拠り所となる制度

も無く、実効性ある支援には繋がらなかったことから、家計から生活再建を考える支援も今後の課題と考える。

後見センターでは地域住民や医療機関、行政等の関係機関から成年後見制度に関する相談や手続き支援、市町村長申立に関する支援を行った。相談内容としては、実際の財産の管理方法、身上監護の具体的な内容を問うものや申立手続きに関するものが多く、制度利用につながるケースが増加した。

また、市民後見人養成講座を開催した。平成 27 年度は市民後見人養成講座修了者の中から数名を選抜し、一定期間法人後見支援員として活動し実績を積んでいただき、市民後見人として活躍できるように、家庭裁判所との調整やバックアップ体制等整備していく。

4 共同募金配分金事業

戦後の混乱した経済社会状況の中、「国民たすけあい」の精神を基に始められ赤い羽根共同募金運動は、民間社会福祉事業の経済的基礎を確立する上で大きく貢献した。

半世紀以上過ぎた今でも、共同募金にお寄せいただく皆様の善意は、民間社会福祉施設や団体にとって貴重な活動財源になっており、毎年 10 月 1 日から各都道府県共同募金会が主体となって全国一斉に展開される共同募金運動に積極的に協力している。

お寄せいただいた募金は、長野県共同募金会へ一旦集約され、配分決定のあった民間社会福祉施設、団体に翌年度配分される。

共同募金への募金ができる機能がついている自動販売機「ハートフルベンダー」が上田市内において 1 施設 2 台設置され、募金活動が行われた。

平成 26 年度募金総額	28,605,379 円（目標額 28,945,000 円）
内訳 戸別募金	26,195,919 円（目標額 26,734,000 円）
法人募金	1,393,784 円（目標額 1,350,000 円）
学校募金	216,976 円（目標額 252,000 円）
職域募金	140,229 円（目標額 98,000 円）
街頭募金	455,286 円（目標額 338,000 円）
その他	203,185 円（目標額 173,000 円）

	上田地区	丸子地区	真田地区	武石地区	合計
戸別募金	17,951,779 円	4,992,688 円	2,273,220 円	978,232 円	26,195,919 円
法人募金	1,091,467 円	240,317 円	57,000 円	5,000 円	1,393,784 円
学校募金	153,838 円	28,116 円	32,873 円	2,149 円	216,976 円
職域募金	73,220 円	33,942 円	26,916 円	6,151 円	140,229 円
街頭募金	406,307 円	30,551 円	12,288 円	6,140 円	455,286 円
その他	176,185 円	26,000 円	0 円	1,000 円	203,185 円
合計	19,852,796 円	5,351,614 円	2,402,297 円	998,672 円	28,605,379 円

4 共同募金配分金事業の評価等

共同募金は、「国民たすけあい」の精神で行われる募金であり、ボランティア団体やNPO法人、社会福祉施設への助成し、活動支援をすることで、市民へのサービスとして還元されている。

募金実績においては年々若干減少傾向にあり、市民の方々の理解を得られる募金方法や周知の仕方を検討し、配分金を受けている事業についてももっと市民の方々に対してアピールしていく必要があると感じている。

5 生活支援地域福祉事業

(1) 高齢者住宅等安心確保受託事業

この事業は、別所地区にある高齢者向け県営住宅の16世帯の皆さんに、生活援助員を派遣し、生活指導・相談、安否の確認等を行った。

【主な活動内容】

緊急対応 8件 お茶会 12回開催 118人参加

安否確認及び戸締り確認 毎週月曜日から金曜日 毎朝・毎夕

(2) 有償在宅福祉サービス事業

市内にお住まいの高齢の方や障がいのある方が日常生活において援助が必要な時、地域住民の助け合いにより住み慣れた地域で安心して暮らせるように{福祉輸送サービス}や「ご用聞きサービス」を有償で提供し生活の支援を行っている。

ア 上田有償在宅福祉サービス事業（福祉移送サービス事業）

利用会員数 50人 協力会員数 10人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数	59	67	82	70	63	85	87	59	83	84	81	69	889回
利用会員数	16	20	20	19	16	23	23	19	20	22	18	17	233人
協力会員数	6	6	6	7	7	8	7	7	8	7	5	6	80人

イ 丸子有償在宅福祉サービス事業（福祉移送サービス事業）

利用会員数 45人 協力会員数 15人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数	57	38	36	38	37	42	43	41	38	38	28	38	474回
利用会員数	15	16	14	14	13	17	12	15	12	14	8	14	164人
協力会員数	10	10	7	9	9	9	9	8	9	8	8	8	104人

ウ 真田有償在宅福祉サービス事業（福祉移送サービス事業）

利用会員数 18人 協力会員数 7人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数	24	34	41	42	27	29	29	23	18	9	7	6	289回
利用会員数	7	7	9	9	6	6	6	6	4	3	4	3	70人
協力会員数	5	8	6	7	6	6	6	6	6	3	4	4	70人

エ ご用聞きサービス事業

上田市にお住まいの高齢者世帯及び障がい者世帯を対象に、日常生活を送る上で困っていることなどをご近所の助け合いや支えあいにより支援することを目的とした有償福祉サービスであり、平成22年2月1日から事業を開始した。現在、利用会員と協力会員とのマッチングを進め、多くの協力員の方に御協力をいただき活動を行っている。

	26年度
協力会員の登録数	44人
利用会員の登録数	81人
利用回数	356件

【活動内容の内訳】

買物代行	54件	部屋の掃除	27件	風呂場・水周りの掃除	1件
窓ふき	8件	ゴミ出し	230件	草取り	13件
雪かき	5件	軽微な修繕	1件	その他	17件

(3) 丸子高齢者サービスセンター事業

介護認定を受けていない方を対象に、お互いに交流することにより生きがいを高め、レクリエーションや体操等、介護予防をすることを目的として実施した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	55	64	55	62	58	56	76	62	68	65	63	66	750人

5 生活支援地域福祉事業の評価等

高齢者や障がい者の方々の日常生活を送る上での困りごとに対して協力員として登録いただいた市民の方々の協力を得ながら支援することを目的に行った。病院の送迎、買い物、ゴミ出しなど利用者のニーズにあった対応ができた。また、日常の外出において単独では公共交通機関の利用が困難な高齢者、障がい者の外出の利便や社会参加の促進につながり、地域の方の力を借り活動を行う中で地域の支えあい、新たな人と人のつながりの構築となった。

活動実績から、徐々に地域に事業の認知が広がっており、利用についての相談や利用会員への登録件数が増加している一方で協力会員の不足が課題となっており、今後、更なる周知活動や他の事業等の連携を図り、協力会員への登録を推進していく必要がある。

6 地域包括支援センター事業

(1) 神川地域包括支援センター事業

専門職の看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員の常勤3人と非常勤の介護支援専門員1人で、地域の高齢者の皆さんや家族の方々が、住み慣れた地域で安心して生活を送っていただくことを目的とし、地域福祉の拠点となるよう事業を実施した。

- ・介護保険利用者に対する介護予防プランの作成
- ・高齢者、家族、地域住民等に対する総合的相談及び支援
- ・高齢者虐待防止及び早期発見等の権利擁護事業
- ・支援困難ケースへの対応など介護支援専門員への支援
- ・高齢者主体の自治会活動の啓発

ア 相談内容・人数（電話・来所・訪問）

	総合的な相談	権利擁護	介護予防マネジメント	合計
相談件数	946	120	2,087	3,153

イ 事業内容

	回数	内 容
夜間緊急相談実績回数	5	介護保険について、介護相談等
介護予防活動講演、実技	20	健康広場、いきいきサロン、ふれあい広場、おたっしや教室、茶話会等
会議、研修	83	民生委員会、地域包括担当者会議、県・市主催の研修等
ケースカンファレンス (医療との連携)	39	精神疾患のある方の入退院の支援、医療機関から在宅へ向けての支援
介護支援員専門員に対する支援	13	困難支援ケースへの対応・支援
高齢者実態把握	130	主に民生委員からの台帳による訪問
介護予防プラン作成件数	63	生活支援型ヘルパー、配食サービス、訪問指導、生きがい対応型デイサービスのプラン作成 運動機能教室、口腔機能向上教室、ステップアップ教室（口腔）

介護予防支援計画件数 (新予防給付)	1,555	要支援1・要支援2
-----------------------	-------	-----------

ウ その他

- (ア) おたっしや教室を開催した。(5回開催 150人参加)
- (イ) 介護予防地域支援事業として「軽い体操と頭のトレーニングについて」「熱中症予防について」「介護保険について」等、地域で講座を開催した。
- (ウ) 民生児童委員会に3職種(看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員)交代で参加した。
- (エ) 実態把握、認定調査を行った。
- (オ) 各種研修会に参加し自己研鑽に努めた。
- (カ) 勤務時間外は携帯電話にて24時間緊急対応体制をとり対応を行った。
- (キ) 民生児童委員へ地域包括支援センターの活動内容紹介と関係づくりに努めた。
- (ク) 地域ケア会議を3回開催した。

(2) 丸子地域包括支援センター事業

専門職の看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員、介護支援専門員の常勤4人と非常勤の介護支援専門員1人で、地域の高齢者の皆さんや家族の方々が、住み慣れた地域で安心して生活を送っていただくことを目的とし、地域福祉の拠点となるよう事業を実施した。

- ・高齢者の実態把握及び介護予防プラン作成
- ・高齢者、家族等に対する総合的相談及び支援
- ・虐待防止及び早期発見等の権利擁護事業
- ・支援困難ケースへの対応など介護支援専門員への支援
- ・高齢者主体の自治会活動の啓発

ア 相談内容・人数(電話・来所・訪問)

	総合的な相談	権利擁護	介護予防マネジメント	合計
相談件数	1,619	402	4,305	6,326

イ 事業内容

	回数	内 容
夜間緊急相談実績回数	111	介護保険について、介護相談等
介護予防活動講演、実技	77	健康広場、いきいきサロン、ふれあい広場 認知症サポーター養成講座開催等
会議、研修	133	民生委員会、地域ケア担当者会議、県・市主催の 研修等

ケースカンファレンス (医療との連携)	36	精神疾患者の入院、認知症、アルコール依存症、 浪費してしまう高齢者の支援について 独居高齢者の退院、退所後の支援について等
介護支援専門員に対する支援	10	困難支援ケースへの対応・支援
高齢者実態把握	240	民生委員からの台帳により訪問
介護予防プラン作成件数	64	生活支援型ヘルパー、配食サービス、訪問指導 生きがい対応型デイサービスのプラン作成 介護予防事業（運動、口腔、総合）
介護予防支援計画件数 (新予防給付)	2,101	要支援1・要支援2

ウ その他

- (ア) おたっしや教室を開催した。(30回開催 571人参加)
- (イ) 介護予防地域支援事業として、「健康に関すること・体操」「権利擁護に関すること」「介護保険に関すること」等、地域で講座を開催した。
- (ウ) 高齢者が増えていく中で、認知症の正しい理解をしてもらうために認知症サポーター養成講座を開催し、サポーターを養成した。(1回開催 10人参加)
- (エ) 実態把握、認定調査を行った。
- (オ) 各種研修会に参加し自己研鑽に努めた。
- (カ) 民生児童委員会に出席し、包括支援センターの活動内容の紹介と関係づくりに努めた。
- (キ) 勤務時間外は携帯電話による24時間緊急対応体制をとり対応を行った。
- (ク) 地域ケア会議（合同）を2回、地域ケア会議（個別）を11回開催した。
- (ケ) 丸子地域における地域密着型施設の運営推進会議に出席した。
- (コ) 看護学生の実習受け入れを行い、人材育成に協力した。

(3) 真田地域包括支援センター事業

専門職の保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員の常勤3人で、地域の高齢者の皆さんや家族の方々が、住み慣れた地域で安心して生活を送っていただくことを目的とし、地域福祉の拠点となるよう事業を実施した。

- ・ 高齢者の実態把握及び介護予防プラン作成
- ・ 高齢者、家族、地域住民等に対する総合的相談及び支援
- ・ 虐待防止及び早期発見等の権利擁護事業
- ・ 支援困難ケースへの対応など介護支援専門員への支援
- ・ 高齢者主体の自治会活動の啓発

ア 相談内容・人数（電話・来所・訪問）

	総合的な相談	権利擁護	介護予防マネジメント	合計
相談件数	1,126	19	334	1,479

イ 事業内容

	回数	内 容
夜間緊急相談実績回数	9	介護保険について、介護相談等
介護予防活動講演、実技	53	健康広場、いきいきサロン、ふれあい広場、おたっしや教室、認知症サポーター養成講座等
会議、研修	48	民生児童委員会、地域包括担当者会議、県・市主催の研修等
ケースカンファレンス (医療との連携)	8	個別事例に対するサービス担当者会議開催支援、医療機関から在宅へ向けての支援、認知症独居高齢者の退院の支援について等
介護支援専門員に対する支援	2	支援困難ケースへの対応・支援
高齢者実態把握	196	民生児童委員からの台帳により訪問
介護予防プラン作成件数	67	生活支援型ヘルパー、配食サービス、訪問指導、生きがい対応型デイサービスのプラン作成、介護予防事業（運動機能向上教室・口腔機能向上教室）
介護予防支援計画件数 (新予防給付)	1,082	要支援1・要支援2

ウ その他

- (ア) おたっしや教室を開催した。(12回開催 199人参加)
- (イ) 認知症の正しい理解をしてもらうために、地域住民・小学生・民生児童委員を対象に認知症サポーター養成講座を開催した。(4回開催 112人参加)
- (ウ) 地域ケア会議を3回開催した。
- (エ) 老人福祉センターで月1回高齢者支援相談を行った。
- (オ) 総合福祉センターで身体らくらく運動教室を月1回開催した。(11回開催 132人参加)
- (カ) 老人福祉センターで音楽レクリエーションを隔月で開催した。(6回開催 97人参加)
- (キ) 健康や介護保険等について健康福祉講座を行った。
- (ク) 男性の自立支援のため、「男性の料理教室」を開催した。
- (ケ) 民生児童委員会に出席し、包括支援センターの活動内容の紹介と関係づくりに努めた。
- (コ) 真田地域における地域密着型施設の運営推進会議に出席した。
- (サ) 実態把握を行った。
- (シ) 看護学生の実習受け入れを行い、人材育成に努めた。

- (ス) 独居・高齢者世帯・認知症高齢者が増えていく中、相談は敏速に専門分野ごと満足いただける相談、情報提供を心がけ対応をした。
- (セ) 真田地域に毎月全戸配布の「真田生き生きふるさと通信」の1ページを隔月で担当し、高齢者と関わる包括業務の記事を掲載し包括の周知に心がけた。
- (ソ) 各種研修会に参加し自己研鑽に努めた。
- (タ) 勤務時間外は携帯電話にて24時間緊急対応体制をとり対応を行った。

(4) 武石地域包括支援センター事業

専門職の看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員の常勤の専門職3人で、地域の高齢者を中心に全ての地区住民が、住み慣れた地域で安心して生活を送っていただくことを目的とし、地域福祉の拠点となるよう事業を実施した。

- ・高齢者の実態把握及び介護予防プラン作成
- ・高齢者やその家族、生活に困難を抱える住民に対する総合的相談及び支援
- ・虐待防止及び早期発見等の権利擁護事業
- ・支援困難ケースへの対応など介護支援専門員への支援
- ・地域による高齢者障害者の支援ネットワークの構築
- ・高齢者サロンの企画立案・実施
- ・高齢者主体の自治会活動の啓発

ア 相談内容・人数（電話・来所・訪問）

	総合的な相談	権利擁護	介護予防マネジメント	合計
相談件数	668	119	883	1,670

イ 事業内容

	回数	内 容
夜間緊急相談実績回数	43	介護保険について、介護相談等
介護予防活動講演、実技	45	健康広場、いきいきサロン、ふれあい広場 認知症サポーター養成講座開催等
会議、研修	160	民生委員会、地域ケア担当者会議、県・市主催の 研修等
ケースカンファレンス (医療との連携)	153	医療機関、その他との連携 個別事例に対するサービス担当者会議開催支援、 質の向上のための研修、ケアマネージャーへの指 導など
介護支援専門員に対する支援	13	困難支援ケースへの対応・支援

高齢者実態把握	107	民生委員からの台帳、当事者・高齢者支援係からの依頼により訪問
介護予防プラン作成件数	13	生活支援型ヘルパー、配食サービス、訪問指導 生きがい対応型デイサービスのプラン作成 介護予防事業
介護予防支援計画件数 (新予防給付)	883	要支援1・要支援2
総合事業ケアマネジメント件数	25	担当地区内総合事業に関するプラン作成

ウ その他

- (ア) おたっしや教室を開催した。(13回開催 165人参加)
- (イ) 介護予防地域支援事業として「健康に関すること・体操」「消費者被害等に関すること」「介護保険に関すること」など啓発活動を行った。
- (ウ) 地域住民の方に認知症の正しい理解をしてもらうために、認知症学習会(サポーター養成講座)を開催した。(武石地域1回)
- (エ) 市武石高齢者支援係と協同して、介護予防の必要性についての啓発と健康運動士の指導による体操を行った。(武石地域)
- (オ) 地域ケア会議を8回開催した(内個別地域ケア会議6回)。
- (カ) 各種研修会に積極的に参加し自己研鑽に努めた。
- (キ) 看護師実習生の受け入れを行い人材育成に務めた。(年3回)
- (ク) 民生児童委員会に3職種(看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員)交代で参加し、地域包括支援センターの活動内容の紹介と事例報告などを行い、連携への協力を求めた。
- (ケ) 勤務時間外は携帯電話にて24時間緊急対応体制をとり、対応した。

6 地域包括支援センター事業の評価等

地域の中核機関である相談窓口として、高齢者の福祉や介護、権利擁護に関する相談や関係機関との連携を強化し、高齢者やその家族が住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう地域福祉を推進した。

介護予防プラン(介護給付)の件数が増加し、加えて支援困難ケースが多く寄せられ、対応に時間が取られることが多く、実態把握調査や介護予防プラン(地域支援、日常生活総合支援事業)に注力できていない。

7 介護保険事業

(1) 中央デイサービスセンター事業

身体の障がい、虚弱等のため介護が必要な方が日中通所して、日常動作訓練・給食・入浴・レクリエーション等のサービスを受けることにより、心身機能の維持向上を図るとともに、社会的孤立感の解消・介護者の負担軽減を図ることを目的に実施した。

また、日常生活動作、特に立ったり、座ったり、階段を上がったたりする場面に使われる筋肉を意識して運動するように目的を明確化している。

ア 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	1日の利用者 定員数 25人
開所日数(日)	26	27	25	27	26	26	
利用者(人)	360	366	336	343	346	365	
ボランティア数(人)	13	14	15	24	14	13	
平成26年度 1日平均利用者(人)	13.8	13.5	13.4	12.7	13.3	14.4	
平成25年度 1日平均利用者(人)	14.7	14.7	15.9	16.2	16.4	16.6	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数(日)	27	25	26	24	24	26	309日
利用者(人)	393	363	368	344	379	409	4,372人
ボランティア数(人)	12	13	72	12	11	21	234人
平成26年度 1日平均利用者(人)	14.5	14.5	14.1	14.3	15.8	15.7	14.1人
平成25年度 1日平均利用者(人)	16.6	16.6	15.0	15.0	15.2	15.3	15.6人

イ 主な行事

・お花見	4月15日(火)～18日(金)	39人
・こいのぼり見学	5月1日(木)、2日(金)	27人
・どら焼き作り	5月16日(金)	12人
・買い物ツアー	5月21日(水)～23日(金)	17人
・買い物ツアー	5月22日(木)～27日(火)	50人
・薔薇お花見	6月5日(木)～11日(水)	35人
・蓮お花見	7月17日(木)～23日(水)	27人
・七夕祭り	8月7日(木)	13人
・かき氷作り	8月18日(月)、8月20日(水)	26人
・運動会	10月9日(木)～15日(水)	75人
・紅葉ツアー・サントミュージーゼ見学	11月7日(金)～13日(木)	35人

・お楽しみ会	12月12日(金)～18日(木)	78人
・まゆ玉作り	1月13日(火)、14日(水)	27人
・節分豆まき	2月3日(火)	15人
・ひな祭り	2月25日(水)～3月3日(火)	96人
・抹茶会	9月17日(水)、3月23日(月)	28人
・お誕生日会	毎月	

ウ ボランティア

・なかよしグループ	(月1回)
・ギターフォーラム	(隔月1回)
・ハーモニカ	(月2回)
・サンピアン	(年4回)
・四ツ葉会	(年3回)
・朗読	(月2回)
・紙芝居	(月1回)

エ その他

・スプリングチャレンジボランティア受入	2人
・介護体験学生受入	2人
・職場体験学生受入	1人
・介護実習生受入	1人
・看護学生実習生受入	32人

(2) 神川デイサービスセンター事業

この事業は身体の障がい、虚弱等のため介護が必要な方が日中通所して、日常動作訓練・給食・入浴・レクリエーション等のサービスを受けることにより、心身機能の維持向上を図るとともに、社会的孤立感の解消・介護者の負担軽減を図ることを目的に実施した。

ア 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	1日の利用者 定員数25人
開所日数(日)	26	27	25	27	26	26	
利用者(人)	523	478	488	533	502	498	
ボランティア数(人)	21	23	47	22	29	22	
平成26年度 1日平均利用者(人)	20.1	18.7	20.4	20.5	20.6	19.6	
平成25年度 1日平均利用者(人)	18.1	17.5	18.0	18.9	18.4	19.1	

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数(日)	27	25	26	24	24	26	309日
利用者(人)	533	515	529	426	450	520	5,995人
ボランティア数(人)	48	22	65	18	31	33	381人
平成26年度 1日平均利用者(人)	19.9	20.6	20.3	18.6	18.7	20.3	19.4人
平成25年度 1日平均利用者(人)	19.0	19.3	18.0	17.7	17.5	18.5	18.3人

イ 主な行事

- ・お花見ドライブ(丸子、水仙、桜) 4月11日(金)～22日(火) 57人
- ・こいのぼり(丸子、武石) 4月22日(火)～26日(土) 50人
- ・つつじ見物 5月14日(水)～20日(火) 32人
- ・薔薇園 6月9日(月)、10日(火) 48人
- ・外食かっぱ寿司 6月2日(月)～27日(金) 40人
- ・七夕まつり 8月4日(月)～7日(木) 79人
- ・運動会 10月14日(火)～17日(金) 80人
- ・紅葉巡り 10月20日(月)～27日(月) 58人
- ・利用者忘年会 12月4日(木)～10日(水) 78人
- ・節分 2月3日(火) 19人
- ・雛祭り 3月2日(月) 19人
- ・外出、ファッションモールはなおか 及び やおふくへ買い物 年1回
- ・第一中学校との交流会 年3回 ・神川小学校との交流会 年6回
- ・誕生日会 随時

ウ ボランティア

- ・ギターフォーラム 隔月1回
- ・花一輪 年5回
- ・義民太鼓 年2回
- ・アンジェリカ 年1回
- ・ドルチェの会 年2回
- ・ハーモニカ 年1回
- ・フラダンス 年2回
- ・お嫁さんボラ 年2回
- ・江戸芸かっぽれ 年3回
- ・バトルボラ 年1回
- ・シルバーバンド 年2回
- ・侍学園 年1回
- ・武道と舞踊 年1回
- ・アコーディオン 年1回
- ・お話しボランティア 月、木曜日 週1回

エ ボランティア

- ・ジョブサポート受入 月3回 木曜日 3人
- ・スプリングチャレンジボランティア受入 3人
- ・介護体験学生受入 6人

(4) 武石デイサービスセンター事業

在宅で生活している要介護、要支援の高齢者に利用していただき、食事や入浴のほか、リハビリ体操、レクリエーション等を通じて残存機能の維持向上を目指すとともに、季節ごとの行事や利用者同士のふれあいを大切にした行事をたくさん取り入れ、心身ともに活性化が図れるようサービス提供に努めた。また、在宅生活を維持するため、介護者からの相談に乗りながら負担軽減に努め、利用者の増加と経費削減に取組実施した。

ア 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開所日数(日)	30	31	30	31	31	30	1日の利用者 定員数35人
利用者(人)	572	561	578	585	603	605	
ボランティア数(人)	5	12	12	15	15	5	
平成26年度 1日平均利用者(人)	19.1	18.4	19.3	18.9	19.5	20.2	
平成25年度 1日平均利用者(人)	17.2	17.3	18.1	19.0	18.5	19.1	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数(日)	29	30	30	28	28	31	359日
利用者(人)	659	666	660	598	581	618	7,286人
ボランティア数(人)	10	11	27	5	0	5	122人
平成26年度 1日平均利用者(人)	22.8	22.2	22.0	21.4	20.8	20.1	20.3人
平成25年度 1日平均利用者(人)	19.0	19.8	19.4	17.8	15.8	16.9	18.2人

イ 主な行事

(ア) 施設内

- ・柏餅づくり 4月21日(月)～29日(金) 65人
- ・おやつ作り 6月13日(金)～25日(水) 86人
- ・手づくな 7月2日(水)～10日(木) 90人
- ・やすらぎ祭り 8月6日(水)～8日(金) 43人
- ・文化祭準備 9月1日(月)～9日(火) 81人

・おはぎづくり	9月10日(水)～18日(木)	85人	
・園児との交流会	11月11日(火)～12月28日(日)	101人	
・正月準備	11月17日(月)～26日(水)	133人	
・そば打ち実演	11月21日(火)	24人	
・忘年会	12月2日(火)～12日(金)	99人	
・まゆ玉づくり	1月8日(木)～14日(水)	92人	
・やすらぎ喫茶	2月3日(火)～13日(金)	57人	
・寿司バイキング	2月7日(土)、3月24日(火)	37人	
・ぼたもち作り	3月4日(水)～17日(火)	104人	
・武石小ボランティア委員会との交流会(1回)	7月7日(月)	29人	
・手打ちうどん実演	5月・7月・9月・1月	76人	
(イ) 屋外行事			
・お花見	4月14日(月)～16日(水)	73人	
・喫茶会	5月6日(火)～16日(金)	24人	
・紅葉狩り	10月28日(火)～30日(木)	54人	
(ウ) 誕生会			
・毎月1回(該当者 写真撮影)			
(エ) ボランティア行事			
・大正琴	年4回	・日本舞踊	年3回
・手話ダンス	年1回	・ギターフォーラム	年6回
・夢倶楽部	年1回	・個人ボランティア演奏	年5回
・chi-ku竹庵	年2回(ダンス、歌、話し相手、手作りプレゼント)		

7 介護保険事業の評価等

各事業所としては、利用者増を図るため職員間でアイデアを出し合い各事業所の新聞を作り PR 活動をした。経費についても細かいところで見直して、できるところから削減を実施した。

サービスについては、日々の利用の中で、季節に応じた外出支援や定期的に関わってくれているボランティアによる催し等を利用者に提供し、それぞれの特徴を生かした対応をしている。そういった中で職員も資質の向上のため、研修に参加した。

また、介護体験や職場体験の学生、介護や看護学生実習の受入も積極的に行い、福祉の担い手の育成にも協力している。

8 相談事業

(1) 上田相談事業

ア 心配ごと相談

- ・相談員：1人
- ・相談日：毎週月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
- ・開設日数：245日
- ・相談件数：53件
- ・相談内容：家族のこと 他

イ 電話相談「はればれ電話」

- ・相談員：1人
- ・相談日：毎週月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
- ・開設日数：245日
- ・相談件数：170件
- ・相談内容：近所とのトラブルや苦情、生活の不安 他

ウ 法律相談（予約制）

- ・相談員：弁護士1人
- ・相談日：毎月第3土曜日 午前10時～正午
- ・開設日数：12日
- ・相談件数：63件
- ・相談内容：相続、離婚、金銭トラブル、契約、土地の境界 他

エ 結婚相談

- ・相談員：4人
- ・相談日：毎週水曜日午前10時～午後3時、毎月第2土曜日午前10時～午後3時
- ・開設日数：62日
- ・相談件数：2,875件（電話相談含む） 来所者数(延べ)1,036人
- ・登録者(実活動者数) 男性438人 女性191人 計629人
- ・成立組数：見合い83組 婚約2組 結婚5組

(ア) ながの結婚マッチングシステム

長野県内でマッチングシステムに登録者している男女を、インターネットで検索し紹介するシステム

上田での登録者数 男性16人 女性5人

お見合い5組（お見合い場所 長野市3回 上田市2回）

(イ)お見合企画

「高原のフェスティバルを楽しもう」

45歳までの男女を対象

6月1日(日) 菅平ホテル

参加者 男性14人 女性14人 カップル成立5組

「限定 お見合い企画」

男性45歳～55歳前後を対象(女性は制限なし)

9月21日(日) 上田市ふれあい福祉センター 大会議室

参加者 男性9人 女性10人 カップル成立1組

「カップリングパーティー 冬物語」

45歳までの男女を対象

12月13日(土) 上田東急イン内 国際21クリスタルホール

参加者 男性31人 女性30人 カップル成立9組

「45歳からのカップリングパーティー」

男性45歳～59歳までを対象 女性は制限なし

3月15日(日) 上田東急イン内 国際21クリスタルホール

参加者 男性15人 女性11人 カップル成立3組

(ウ) 新企画 独身者のコミュニティサークル

自主的なイベント企画などをおして、同じメンバーが継続的な時間を過ごす中でコミュニケーション力を養い、信頼関係を築きながら自然な形で恋愛へと発展していくことをねらいとする。

・サークル結成のための基盤づくりの企画

「新たな婚活スタイル」

年齢条件なし

12月22日(月) 上田市ふれあい福祉センター 大会議室

参加者 男性24人 女性5人 (年齢28歳から72歳)

1月23日(金) コミュニティサークル「フリーメイツ」結成

結成メンバー 14人(20代1人、30代9人、40代4人)

※随時メンバーを募っていく

年齢制限 男女とも40代まで

活動日 毎月第2、第4金曜日

活動場所 上田市ふれあい福祉センター

活動回数 4回 延べ参加人数41人

(2) 丸子相談事業

ア 心配ごと相談

・相談員:12人

・相談日:毎月8の日(8日、18日) 午前9時～正午

- ・開設日数：18日
- ・相談件数：14件
- ・相談内容：財産、離婚、借金問題、就労、DV等

イ 法律相談

- ・相談員：弁護士1人 他1人
- ・相談日：2ヶ月に1回を目安に実施 午後1時30分～午後3時30分
- ・開設日数：6日
- ・相談件数：19件
- ・相談内容：財産問題、遺産相続、離婚、借金、金銭トラブル、家族問題

ウ 結婚相談

- ・相談員：3人
- ・相談日：毎月8日 第4土曜日 午前9時～正午
- ・開設日数：24日
- ・相談件数：100件
- ・成立組数：見合い25組

(3) 真田相談事業

心配ごと相談

- ・相談員：8人
- ・相談日：毎月第2土曜日 午前9時～正午
- ・開設日数：12日
- ・相談件数：14件
- ・相談内容：土地、登記、相続、財産、民事、その他

(4) 武石相談事業

心配ごと相談

- ・相談員：1人
- ・相談日：毎週 月曜日～金曜日 午前9時～午後4時
- ・開設日数：244日
- ・相談件数：5件
- ・相談内容：就労・家族問題・その他

8 相談事業の評価等

市民の方からの身近な相談窓口として様々な生活上の相談に応じ、内容によっては他の専門機関等と連携を図りながら市民の方が不安や悩みを抱え込まずに解決につながるよう努めた。

結婚相談日には多くの登録者が相談に訪れている。また、婚活イベントを開催し、出会いの場の提供をした。本年度は、市民からの要望もあり年齢限定の婚活イベント等も開催した。

また、新企画として独身者のコミュニティサークル「フリーメイツ」を結成した。このサークル

は自主的な婚活イベントの開催を通じてコミュニケーション能力などを養い、自然恋愛に近いかたちでの新たな婚活のスタイルを目的としている。次年度に向け、メンバーが積極的に企画を立案中である。

9 たすけあい資金貸付事業

小口一時生活資金として貸し付ける社協独自の制度で、貸付限度額は 5 万円まで、無利子である。

貸付金状況

	相談件数	貸付件数	貸付額
上田地区	72 件	21 件	847,000 円
丸子地区	15 件	4 件	200,000 円
真田地区	2 件	0 件	0 円
武石地区	0 件	0 件	0 円
合計	89 件	25 件	1,047,000 円

9 たすけあい資金貸付事業の評価等

行政や民生委員・児童委員など関係機関との連絡調整を密にし、貸付決定後も償還指導を含む継続的な相談を行うことにより、低所得・高齢者・障がい者世帯の自立更生につながるよう資金の貸し付けと必要な相談支援を行った。

今年度長期滞納者と連帯保証人に対して福祉課との連名で督促状の送付と電話連絡をし、生活状況を聞いた上で可能な範囲で返済をしていただけるよう取り組んだ。

住所不明となっている方や電話が繋がらない等、状況確認の方法がないことが課題である。

10 ボランティア地域活動センター事業

この事業は地域住民のボランティア活動に関する理解と関心を深めるとともに、その育成と組織化を促進することを目的として実施した。

(1) 上田ボランティア地域活動センター事業

ア ニーズの把握

- (ア) 相談活動によるニーズの把握
- (イ) 社会福祉施設、ボランティア団体のニーズの把握
- (ウ) 企業の社会貢献に関する状況把握

イ 広報、啓発

- (ア) 情報提供

啓発のためのボランティアセンターパンフレット配布、ボランティアコーナー掲示板・社協ホームページでのボランティア情報提供、「社協うえだ」へボランティア情報の掲載 年6回（2月、4月、6月、8月、10月、12月）上田市内全戸へ配布

(イ) 新聞等報道機関の活用

信濃毎日新聞、東信ジャーナル、信州民報、週刊うえだ、上田ケーブルビジョン等

(ウ) 収集活動

整理済み古切手 58.98kg

海外支援団体（ジョイセフ・日本キリスト教海外支援協力会）及び国内NPO法人（誕生日ありがとう本部）へ送付

(エ) ボランティア保険等の普及、保険への加入促進

- ・ボランティア活動保険加入者 2,055人
- ・ボランティア活動行事用保険加入者 36件 3,751人
- ・上田市福祉ボランティア保険掛金補助交付制度代理事務による補助 1,952人

ウ 養成研修、組織化

(ア) 各種講座の開催

- ・夏休み親子体験リサイクル講座（全2回） 参加者 14人
- ・福祉体験サポーター養成講座（全3回） 参加者 7人
- ・マジックバルーンアート講座（全2回） 参加者 16人
- ・点訳ボランティア養成講座（全5回） 参加者 6人
- ・ハンドマッサージボランティア養成講座（全2回） 参加者 41人

(イ) 上田市ボランティア地域活動センター運営委員会の開催

4月28日（月）第4回運営委員会 事業報告等

8月7日（木）第5回運営委員会 丸子ボランティア地域活動センター視察等

(ウ) 上田ボランティア連絡協議会の活動支援

平成25年度から、事務局を上田ボランティア地域活動センターに設置し、事業の充実に向けて取り組んだ。

・視察研修会

7月11日（金）松本盲学校、県視覚障害者福祉センター視察

・交流会、講演会

11月16日（木）

講演会「健康カラオケ体操」 NPO法人健康サポートまごの手

交流会 「お店だし」によるグループ活動紹介

(エ) 研修会の開催

・上小ブロックボランティアフォーラム

9月27日(土) 長門町民センター

一般参加者(上田・東御・青木・長和) 130人

エ 社会資源活用、ネットワーク促進

(ア) うえだ市民ふれあい広場

実行委員会による事業の運営

6月26日(木) 第1回実行委員会

7月31日(木) 第2回実行委員会

9月18日(木) 第3回実行委員会

10月4日(土) 第36回うえだ市民ふれあい広場開催 場所 上田創造館

10月31日(金) 第4回実行委員会

実行委員 40団体 約380人 小中高生ボランティア 41人

来場者 約3,500人

(イ) ひざ掛の配布

制作 モチーフの会

配布時期 12月 対象者:高齢者及び重度障がい者

配布地区 豊殿地区

(配布地区は上田地区内を毎年順番に回している)

配布数 216枚(配布には各地区の民生委員さんの協力をいただいた)

オ 福祉教育の推進

(ア) 社会福祉普及校の指定

内容:児童・生徒が体験を通じて、社会福祉の理解と関心を高め、日常生活の中に相互扶助、社会連帯の思想を浸透させることを目的に、小・中学校及び高等学校を対象に、社会福祉の普及を推進する。普及校1校に対し活動費50,000円の補助を行う。それぞれ地域の実情に合わせ、特性を生かした活動を展開した。

◇指定校:小学校16校、中学校7校、高校3校 計26校

◇社会福祉普及校連絡会議 11月27日開催

(イ) 出前福祉体験事業

内容:福祉体験を目的とした活動について、資材貸出、講師紹介及びボランティア団体との交流(点字、手話、絵手紙など)やハンディキャップ体験(車

いす、アイマスク体験、高齢者擬似体験など）を学校等地域に出向いて行った。

対 象：小学校 9 件、中学校 7 件、高等学校 1 件、PTA 1 件、自治会 1 件、
企業 1 件 計 20 件 22 回 対象者 1,487 人

(ウ) 福祉体験プログラムの展開

○夏のボランティア大作戦（対象中学生以上）

内 容：ボランティア活動を体験することにより、生徒、学生の視点から地域の課題を見つめ、自分たちが出来ることは何かを主体的に考え活動することを目的に実施した。

・事前研修

7 月 26 日（土） 上田市ふれあい福祉センター

事前研修・講演会

講 師 （福）敬老園 教育研修課長 齊藤 ひとみ 氏

演 題 「ボランティアにチャレンジする前に」

参加者 144 人

・施設でのボランティア体験活動

7 月 27 日（日）～8 月 15 日（金）の間、一人 1 施設で 2 日以上 of 体験活動を行う。

受入先福祉施設 40 施設 参加者 164 人

○スプリングチャレンジボランティア（対象中学生以上）

内 容：春季休暇を利用し、ボランティア活動を体験することにより学生の視点から地域の課題を見つめ、自分達に取り組めることは何かを主体的に考え活動できることを目的に実施した。

・事前研修

3 月 21 日（土） 上田市ふれあい福祉センター

講 師 NPO 法人健康サポートまごの手 齊藤 恵理子 氏

演 題 「シミュレーションしよう 明日からのボランティア」

参加者 138 人

・施設でのボランティア体験活動

3 月 24 日～3 月 31 日の間、一人 1 施設で 2 日以上 of 体験活動を行う。

受入先福祉施設 46 施設 参加者 178 人

カ 災害時の訓練、協力

(ア) 災害救援ボランティア登録の受付

登録者総数 個人 337 人 団体 18 団体(407 人)

(イ) 災害救援ボランティア研修会

「平成 26 年度 災害救援ボランティアセンター立ち上げ訓練」

8 月 30 日（土） 上田市ふれあい福祉センター 86 人参加

ボランティアセンター受付状況

ボランティア活動保険加入状況

	ボランティア登録		災害救援ボランテ ィア登録		新規ニーズ 依頼受付 (件)
	個人 (人)	団体 (団体・人)	個人 (人)	団体 (団体・人)	
4 月	6	3(33)	0	0	38
5 月	4	0	1	0	35
6 月	10	0	0	0	43
7 月	2	0	0	0	35
8 月	19	1(5)	1	0	54
9 月	10	2(14)	2	0	28
10 月	4	1(4)	0	0	38
11 月	3	1(15)	0	0	12
12 月	6	2(25)	1	0	32
1 月	1	0	0	0	29
2 月	9	1(5)	0	0	38
3 月	8	1(13)	0	0	33
合計	82	12(114)	5	0	415
累計	1,053	223(14,561)	337	18(407)	

	ボランティア 活動保険(人)	ボランティア 行事用保険(人)
4 月	1,387	870
5 月	49	63
6 月	181	183
7 月	205	192
8 月	39	306
9 月	28	576
10 月	29	837
11 月	8	250
12 月	9	280
1 月	0	50
2 月	4	120
3 月	116	24
合計	2,055	3,751

ボランティアニーズのマッチング状況

	在 宅		施 設		その他		合 計	
	新規・継続 ニーズ (件)	ボランテ ィア 活動者 (人)	新規・継続 ニーズ (件)	ボランテ ィア 活動者 (人)	新規・継続 ニーズ (件)	ボランテ ィア 活動者 (人)	新規・継続 ニーズ (件)	ボランテ ィア 活動者 (人)
4 月	17	38	105	113	21	66	143	217
5 月	17	36	119	131	18	57	154	224
6 月	16	35	133	148	24	64	173	247
7 月	16	37	136	184	19	48	171	269
8 月	17	37	121	139	15	25	153	201
9 月	18	38	126	142	25	68	169	248
10 月	16	37	126	144	27	51	169	232
11 月	17	36	128	148	22	78	167	262
12 月	14	34	125	169	19	54	158	257
1 月	14	36	102	119	13	34	129	189
2 月	16	38	102	116	15	45	133	199
3 月	16	38	121	135	22	75	159	248
合 計	194	440	1,444	1,688	240	665	1,878	2,793

(2) 丸子ボランティア地域活動センター事業

ア ニーズの把握

- (ア) 相談活動によるニーズの把握
- (イ) 社会福祉施設、ボランティア団体のニーズの把握
- (ウ) 企業の社会貢献に関する状況把握

イ 広報、啓発

- (ア) 「社協うえだ」へボランティア情報の掲載
年6回(2月、4月、6月、8月、10月、12月)上田市内全戸へ配布
- (イ) 新聞等報道機関の活用
信濃毎日新聞、信州民報、東信ジャーナル、週刊うえだ、丸子テレビ、丸子有線
- (ウ) 「鈴木木ヅシ文庫」による啓発CD、書籍などの貸出(50件)
- (エ) 収集活動

使用済み古切手

整理後、日本キリスト教海外支援協力会へ送付

- (オ) ボランティア保険等の普及、加入促進
 - ・ボランティア活動保険 37件 513人
 - ・ボランティア活動行事保険 7件 290人
 - ・上田市福祉ボランティア保険掛金補助交付制度代理事務による補助 483人

ウ 養成研修、組織化

(ア) 各種講座の開催

- ・男性のためのボランティア講座(全3回)
 - マジックバルーンアート 参加者 14人
 - トレッキングコース散策 参加者 12人
 - 珈琲講座 参加者 13人
- ・音訳ボランティア養成講座(全5回) 参加者 19人
- ・地域づくり講座(全2回) 参加者 29人

(イ) 丸子ボランティア連絡協議会

加入団体 22団体 加入者数(個人ボラ含) 941人

(ウ) ボランティア育成・組織化

- ・丸子地域の中学3年生に向け「ポプリの受験お守り」製作
丸子中学校、丸子北中学校受験生に向けポプリのお守りを贈呈
(贈呈生徒数 248人 製作に関わったボランティア数 5人)

エ 社会資源活用、ネットワーク促進

- 丸子ボランティア連絡協議会の活動支援

(ア) いきいきフェスティバル 2013 (健康と福祉の祭典)

6月28日(土)

わたあめ、ポップコーンづくり、会場係他で参加

(イ) 清掃美化活動

7月5日(土) 雨天中止

依田川河原のアレチウリ駆除活動

(ウ) 視察研修

7月30日(水) 参加者 19人

黒姫和漢薬研究所視察

(エ) 視障協マッサージサービス

8月17日(日) 参加者 20人

視障協の方によるマッサージサービス

(オ) げんきまるこ産業フェスタ 2014

10月4日(土)

バザー販売で参加

(カ) 丸子災害救援ボランティア研修会

11月1日(日) 参加者 82人

講師 上田市総務部危機管理防災課 大林 裕治 氏

演題 「上田市の防災対策について」

(キ) 丸子ボランティア連絡協議会定期交流会

11月29日(土) 参加者 144人

講演会

講師 NPO法人CO2バンク推進機構 柿崎 久 氏

演題 「地球温暖化防止のために今日から実践 家庭の省エネ・節電」

交流会 お話を楽しむ会、ゆうあいまるこ、ライオンズクラブ、手話ダンス発表

(ク) ボランティア育成事業

2月17日(火) 参加者 20人

救急法講習会(心肺蘇生法、AED講習会)

(ケ) 多文化共生事業「ワールドランチ交流会」

中国、スリランカ、ブラジル、韓国、インドネシア、日本料理 参加者 69人

(コ) 丸子ボランティア連絡協議会代表者会・役員会・三役会へ参加

(サ) 外国籍市民や母子家庭などへ支援米配布の支援

○その他活動の支援

(ア) まるこモチーフの会

膝掛の配布（依田、長瀬、塩川、武石地域、施設等 122 枚配布）

(イ) E キャップの会（やさしい帽子の会）

闘病生活を送るガン患者の方にタオルの帽子を提供

（佐久病院、依田窪病院、増田医院、浅間病院他 237 枚配布）

(ウ) 傾聴ボランティア・まるこ

傾聴の技術により話を聞いてほしい人に寄り添うボランティア活動

（個人宅、施設含め 87 件訪問）

オ 福祉教育の推進

(ア) 社会福祉普及校の指定

児童・生徒が体験をとおして、社会福祉への理解と関心を高め、日頃から助け合いの気持ちを育むことを目的として指定した。普及校 1 校に対し活動費 50,000 円までの補助を行う。（小学校 4 校、中学校 2 校、高校 1 校）

(イ) 出前福祉体験事業

内 容：学校における福祉体験を目的とした活動について援助し、講師派遣、ボランティア団体との交流（点字・手話）、車いす体験、高齢者疑似体験などを行った。

対 象：小学校 5 件、中学校 5 件 計 10 件 対象者 834 人

(ウ) 福祉体験プログラムの展開

・サマー体験ボランティア 2014

内容：夏の長期休暇等を利用して、福祉施設やボランティア団体での体験学習をとおして今後の学校や地域社会におけるのありかたを考える事を目的として実施した。

○事前研修会

7 月 21 日（日） 参加者 52 人

講 師 障害者スポーツサポートクラブ代表 坂田 雄之 氏

演 題 「ボランティアの心構え」

○施設、病院ボランティア体験 （受入れ 10 施設 参加者 20 人）

○ボランティア団体での体験 （受入れ 3 団体 参加者 25 人）

ボランティアニーズ状況

	施 設		学 校（保育）		そ の 他		合 計	
	ケース （件）	ボラン ティア （人）	ケース （件）	ボラン ティア （人）	ケース （件）	ボラン ティア （人）	ケース （件）	ボラン ティア （人）
合計	11	100	7	75	22	102	40	277

その他問い合わせ状況 1,300 件（移送含む）

ボランティアセンター利用状況

	使用団体	使用人数	内夜間利用者	内休日利用者
4月	21	171	52	59
5月	21	120	38	10
6月	22	157	50	35
7月	19	119	40	42
8月	22	125	43	12
9月	24	160	37	21
10月	24	146	33	29
11月	23	154	45	37
12月	18	124	52	20
1月	17	101	15	28
2月	24	151	31	33
3月	25	151	37	14
合計	260	1,679	473	340

(3) 真田ボランティア地域活動センター事業

ボランティア・市民・学校・行政などさまざまな団体、個人からのボランティア活動に関する相談や問い合わせがあった。

ア ニーズの把握

(ア) 社会福祉施設、ボランティア団体、NPO 法人の把握

(イ) 相談による把握

イ 広報、啓発

(ア) 啓発のためのチラシを作成し福祉体験授業に使用した。

- ・エスコートガイド（車いす、アイマスク）
- ・高齢者疑似体験のチラシとポスターを作成
- ・真田地域の福祉施設の概要説明書を作成
- ・イベントのチラシを全戸に配布

(イ) 「社協うえだ」へボランティア情報の掲載

年6回（2月、4月、6月、8月、10月、12月）上田市内全戸へ配布

(ウ) 収集活動（使用済み切手、アルミ缶、書き損じはがき、エコキャップ）にあわせて啓発をし協力した。

(エ) 報道機関（信濃毎日新聞、週刊うえだ、東信ジャーナル、有線放送）を活用しボランティア活動等を周知し参加を呼び掛けた。

(オ) 福祉用具を学校へ貸出しした。

- 車いす 20 台 高齢者疑似体験 3 セット（あいおい損保より借用）
- アイマスク 69 枚

(カ) ボランティア保険の普及と加入促進

- ・ボランティア活動保険加入 14 団体 247 人
- ・ボランティア行事用保険加入 18 件 1,824 人加入
- ・福祉有償サービス傷害保険加入 10 人

ウ 養成研修・組織化

(ア) 各種講座の開催

- ・ボランティア学園 参加者 延べ人数 93 人

ボランティア活動をしたいと思っているがなかなか一歩踏み出せない。そんな方々を対象に、基礎的な知識や技能を学び、いろいろなボランティア活動があることを知ってもらう機会にさせていただくことを目的に開催した。

①5月22日(木) 開校式 オリエンテーション

「ボランティアとは？」

講師 上田市社会福祉協議会真田地区センター長 笠原 茂正

「地域福祉について」

講師 上田市社会福祉協議会真田地区センター地域福祉係長

堀内 伸之

②6月5日(木) 傾聴 「人の話を聴くということ」

講師 チャイルドライン上田研修委員長 松崎 礼子 氏

③6月19日(木) 園芸福祉「こけ玉づくり」

講師 園芸福祉グリーンドア 黒澤 朝男 氏

④7月3日(木) お手玉講習会

講師 とおみお手玉の会 掛川 はつ子 氏

⑤7月17日(木) 講話「年をとるって？体の変化を知ろう」

講師 真田地域包括支援センター 橋詰 京子 保健師

⑥8月7日(木) 施設見学と施設でのボランティアについて

特別養護老人福祉施設 アザレアンさなだの施設内見学と
施設でのボランティア活動について研修

講師 アザレアンさなだ職員 田中 文子 氏

⑦8月21日(木) ボランティア連絡協議会の活動紹介とボランティアグループの紹介

講師 ボランティア地域活動センター職員

ボランティアグループの紹介では、3グループの方が活動紹介

⑧9月4日(木) 車いす、アイマスク体験

⑨9月18日(木) 閉講式 修了証書授与式

講演 「これからボランティア活動をする方にエールを」

講師 NPO法人ほこほコネクト代表 宮下 俊哉 氏

月2回の開催でしたが、毎回違うテーマで良かった。なかでも車いす体験やア

イマスク体験など普段できないことが体験できた。目の不自由な方への接し方がわかって良かった。ボランティア活動をしていく自信が少しは出たかなと思った。などアンケートに答えていただき感想を聞いた。受講された方に2回、学校での福祉体験の補助をお願いした。

・11月13日(木) 演歌体操で心もうきうき 講師 成澤 秀敏 氏

いきいきサロンで活用していただくように開催 参加者 10人

(イ) ボランティア連絡協議会加入者数(団体19、施設2)

エ 社会資源活用、ネットワーク促進

(ア) サマーチャレンジボランティア、ふれあい広場、清掃ハイキングを地域の福祉施設、学校、地域住民、NPO法人と連携し開催することができた。

(イ) いきいきサロンへの協力

・講師や話の内容を説明した冊子を作成し、活用していただいた。また、講師の派遣や職員による劇を鑑賞していただき、社会福祉協議会の活動や事業を理解していただくことができた。

・荒井自治会、田中、上原、岡保・入軽井沢で劇を見ていただいた。

・中原、横尾、戸沢、穴沢・三島平、十林寺、四日市のいきいきサロンへ出向き、健康体操や手遊びをして交流することができた。

(ウ) 地域清掃ハイキングを実施した。

福祉施設、福祉団体、学校、保育園、幼稚園、ボランティア団体が参加し、真田地域の環境美化を守るため春と秋の2回行った。また、特別養護老人福祉施設で豚汁の提供を受け、参加者全員で施設内の庭をお借りして、昼食を食べながら年代を超えての交流を図ることができた。

第38回 5月31日(土) 長、傍陽、本原地域の県道・国道沿い 参加者110人

第39回 10月11日(土) 長、傍陽、本原地域の県道・国道沿い 参加者126人

(エ) 第26回ふれあい広場 in さなだへの参画

9月13日(土) 真田総合福祉センター、真田体育館(3回実行委員会開催)

地域住民総参加で、世代を超えて交流を図ることができた。また、住民からバザー用品の提供を受け、売上金の一部(320,641円)を南木曾町豪雨災害義援金として南木曾町へ寄付することができた。

一般入場者数600人、ボランティア数277人(内中学生ボランティア41人)

(オ) ボランティア連絡協議会の活動支援

・役員会、代議員会への協力

・10月17日(金) 先進地視察研修 前橋市社会福祉協議会

平成26年2月と3月の大雪は全国的に被害が起き、その中でも雪とは無縁であった地域では、雪はきの仕方さえ分からず孤立した方も多くあったと

聞きいた。そんな中、前橋市社会福祉協議会では「大雪たすけあいセンター」を立ち上げ活動した。活動するうえで見えてきた課題やその後の活動をお聞きし、自分たちがやらなければならないことを研修し考える機会とすることを目的に開催した。

(カ) 福祉推進委員、福祉委員合同研修にいいききサロン等で活用していただくよう資料の提供をした。

オ 福祉教育の推進

(ア) 福祉体験学習

- ・ 4月24日(木) 菅平中学校事前研修 1年生13人が参加
真田地域の福祉施設の見学を行い、自分がボランティア活動をしたい施設を調べた。
- ・ 5月14日(水)、15日(木) 菅平中学校1年生13人がボランティア体験
障がい者施設、デイサービスセンター、特別養護老人ホームで行った。

(イ) サマーチャレンジボランティア

夏休みを利用してボランティア活動のきっかけ作りをしていただくことと、地域にはどのような施設があり、活動しているのか理解し、どのようなボランティア活動ができるのか考える機会にさせていただくことを目的に中学生を対象に行った。

- ・ 7月28日(月)、29日(火) デイサービスセンター、特別養護老人福祉施設、障害者施設で体験 10人参加
- ・ 8月2日(土) さなだ祭りのお手伝い 7人参加
- ・ 8月4日(月)、8月11日(月) 青パトに乗り町内をパトロール 5人参加
- ・ 8月11日(月) JICA国際協力でベトナムへ行ってきた高校生体験をお聞きした後、絵本にシールを貼るお手伝いをし、難民キャンプへお届けする活動を体験した。 22人参加

(ウ) 小学生の福祉体験学習(出前講座)

- ・ 11月7日(金) 本原小学校5年生、6年生 93人 車いすバスケット体験
- ・ 11月18日(火) 長小学校 5年生、6年生 37人高齢者擬似体験
個人ボランティアに協力していただき、装具を付けてお年寄りの体の変化を体験した。
- ・ 12月3日(水) 長小学校4年生 16人 アイマスクとブラインドサッカーの体験
視覚障がい者の広沢氏に1時間御講演をしていただき、その後、個人ボランティアの協力でアイマスクをつけて校内を歩き、広沢氏に視覚障がい者を案内する時の注意をお聞きした。
視覚障がい者の中沢氏に、ブラインドサッカーを教えていただき、一緒にプレーをした。

- ・2月24日（火）本原小学校4年生 53人 アイマスク体験

普段何気なく歩いているところでもアイマスクを付けることによって全く違う感覚なり、目の見えない方にどのように接すればよいのかを体験することによってわかってきた。

カ ボランティア活動状況

- ・特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、知的障がい者生活施設へ派遣
日赤奉仕団、個人ボランティア 延べ人数 171人
- ・保育園へボランティアグループの派遣 1グループ 4人 3回
- ・小学校へ福祉体験個人ボランティア派遣 4人

キ 災害ボラ研修

- (ア) 3月7日（土）参加者数 110人

福祉推進委員、福祉委員、ボランティア連絡協議会と協賛で、災害時のボランティア活動と平常時の地域活動のポイントを研修した。

講師 NPO法人 ANGEL WINGS 理事長 藤澤 健児 氏

ク その他

- (ア) 上小ブロックボランティアフォーラムへの参加 9人

9月27日（土）9：20～14：30

場所 長門町民センター集会ホール 参加者 120人

内容 活動見本市として、地域で活動している方々が、自慢するポスターやチラシを持参し、それぞれアピールをした。会場のあちらこちらでは、グループで談笑している方、出演の交渉をしているグループなどがいた。

実行委員はボランティア連絡協議会代議員2人が3回出席

- (イ) 童謡・唱歌を楽しむ会開催

家に閉じこもりがちな高齢者が外出し、すぐ口ずさむことができる童謡・唱歌を歌うことで活力を持ち、生きる張り合いにしてもらう。また、いきいきサロン等で率先して歌い発表することでボランティア活動をしていると自覚を持ってもらうことを目的に開催した。

毎月第2金曜日開催 12回 延べ人数 240人

- (ウ) 地域以外の学校と企業の福祉体験の指導補助を行った。 2校と1企業

(4) 武石ボランティア地域活動センター事業

ボランティア活動の推進を図るとともに、地域住民のボランティア活動に対する理解と関心を深めるため、その育成と組織化を図ることを目指した。

ア ニーズの把握

- (ア) 相談活動によるニーズの把握

(イ) 社会福祉施設、ボランティア団体のニーズの把握

(ウ) 企業の社会貢献に関する状況把握

イ 広報、啓発

(ア) 住民参加の地域内のごみ拾いや清掃など、ボランティア活動を通し啓発を進めた。

(イ) 「社協うえだ」へボランティア情報の掲載

年6回(2月、4月、6月、8月、10月、12月) 上田市内全戸へ配布

(ウ) ボランティア保険の普及、保険への加入促進

活動保険 71人(年間)

行事保険 45人(年間)

ウ 組織化

(ア) ボランティア連絡協議会加入者数

団体 12団体 205人 個人 26人

エ 社会資源活用、ネットワーク促進

(ア) 高齢者クラブ連合会女性部による高齢者福祉施設での洗濯物たたみや話し相手

(イ) サークルによるデイサービスへの訪問活動

(ウ) 個人による施設などへのボランティア活動

(エ) 高齢者クラブ員による老人福祉センター庭園の樹木の剪定や草刈りを行い、施設の景観整備に努めた。

年2回 6月、9月 延べ参加者 179人

(オ) ボランティア連絡協議会事務局

・アレチウリ駆除および講演会

講演会 講師 塩田平民話研究所

実施日 6月8日(日) 参加者 40人

・研修会

「手のぬくもりは心のぬくもり～セラピューティック・ケア体験」

講師 セラピューティック・ケア協会 廣田 百合子 氏

実施日 3月7日(土) 参加者 10人

オ 福祉教育の推進

(ア) 福祉体験学習

・高齢者疑似体験・車いす体験 依田窪南部中学校 1年生

実施日 10月27日(月) 参加者 70人、ボランティア2人

・点字学習 依田窪南部中学校 3年生

実施日 6月20日(金)、8月29日(金) 延べ参加者 34人

講師 6月 ボランティア団体ブライユ丸子4人、

8月 ハリ・灸マッサージ師 尾美ご夫婦

- ・ブラインドサッカー 依田窪南部中学校 3年生

実施日 7月10日(木) 参加者 59人

講師 ブラインドサッカーFCレインボー中沢氏、坂田氏、倉田氏、大井氏

- ・手話学習 依田窪南部中学校 3年生

実施日 7月11日(金)、9月12日(金) 延べ参加者 35人

講師 聴覚障がい者3人、手話通訳者 春原氏

- ・福祉講演会 依田窪南部中学校 3年生

実施日 11月7日(金) 参加者 59人

講師 ブラインドサッカーFCレインボー所属 中沢 医 氏

カ ボランティア活動状況

(ア) ボランティア登録数

12団体 205人 個人 33人

災害ボランティア 5人

(イ) 洗濯物たたみ高齢者クラブ女性部： 実施回数 12回 延べ39人参加

(ウ) 傾聴ボランティア： 活動人数 3人 実施回数9回

(エ) サークルによる福祉施設訪問

舞踊 大正琴 カラオケ フラダンス サクソフォーン 美ヶ原飛龍太鼓保存会
ハーモニカ

(オ) 個人ボランティアによる社協主催たのしい会でのボランティア活動

月2回 24回実施 参加ボランティア 延べ57人

10 ボランティア地域活動センター事業の評価等

各地域のボランティア地域活動センターを拠点に運営している中で、誰もが立ち寄りやすいセンターと活動に参加しやすい環境づくりを目的として、ボランティアのネットワークづくりができた。また、福祉教育の推進や、養成講座の開催、ボランティア連絡協議会事業支援などさまざまな活動の中で地域福祉の推進につながった。

それぞれの地域で男女問わず多くの方が参加できる講座の開催や福祉教育の推進として学校に出向き車いすやアイマスク、高齢者の疑似体験、福祉講演会などを行った。

また、災害ボランティア登録をいただいている方々と共に災害救援ボランティアセンターの立ち上げ訓練を行った。

丸子地域では、地域での支え合いの仕組みづくりを目標に地域づくり講座を開催した。地域での活動を支援するとともに、立ち寄りやすく、活動しやすい拠点としてボランティアセンターが活用され、支え合いの仕組みづくりに関わることができた。

課題としては、ボランティアの高齢化があげられるが、今後、魅力ある講座や事業を計画する中で若い世代のボランティアや地域で活躍するボランティアの育成・発掘に取り組んでいく必要がある。

今後は、上田市ボランティア地域活動センター運営委員会等を通じて、事業の見直しや新規事業につ

いても検討していきたい。

また、各地区のボランティア連絡協議会で様々な事業を実施したが、まだ各地区の事業や組織についても温度差があるため、今後は各地区の協議会の交流を図りながら事業の充実を図りたい。

1 1 児童館事業

(1) 上田地区児童館

この事業は、「児童福祉法」第 40 条に規定されている児童厚生施設として、上田市が設置した 2 児童館・6 児童センターを平成 9 年度から上田市社会福祉協議会が管理運営している。

児童館・児童センターは地域の子どもたちに安心して遊べる場を提供し、いろいろな遊びや活動を通して、健康で情操豊かな子どもを育てることを目的としている。

開館時間は、平日は午後 1 時から午後 6 時まで、土曜日や長期休み等小学校の休業日は午前 9 時から午後 6 時までである。

近年、保護者の就労等で留守家庭が増えていることから、その対策として、小学校から直接来館する下校途中の利用、また平成 17 年 3 月の春休みからは、学校休業日に弁当持参での利用ができるようになっており、児童の放課後の居場所として、ますます重要度を増している。また、対応が難しい児童や特別な支援を必要としている児童の利用が増えているため、様々な研修会に参加し職員のスキルアップに努めた。

ア 地区懇談会

朝日が丘児童館	5 月 13 日 (火)	緑が丘児童館	5 月 22 日 (木)
川辺町児童センター	5 月 23 日 (金)	秋和児童センター	5 月 20 日 (火)
東塩田児童センター	6 月 4 日 (水)	大星児童センター	5 月 28 日 (水)
神科児童センター	6 月 5 日 (木)	神川児童センター	5 月 16 日 (金)

イ 研修会への参加

長野県児童館連絡協議会主催 前期研修会、東信地区研修会、北信地区研修会、中信地区研集会。教育委員会主催 放課後児童クラブスキルアップ研修会、カウンセリングマインド研修会。子育て・子育て支援課主催 支援者向け発達障がい理解と支援講演会、市民向け発達障がい講演会。長野県総合学習センター講座 2 回。救急法講習会 2 回。感染症、災害時の対応研修会。工作実習等。

ウ その他

年間を通して、季節や伝統の行事、工作や手芸、プレゼント作りなどの制作、ドッジボールや卓球、バドミントンなどの体育的活動、毎月のお話の会、囲碁将棋の会、講師によるコンサートなどを実施した。また毎月児童館だよりを発行し小学校に配布したほか、自治会にも回覧して地域の方に行事や活動への参加を呼びかけた。サマーチャレンジボランティア、

スプリングチャレンジボランティア、また地域の方のボランティアや実習生の受け入れをした。

児童館利用状況

月	内 訳	朝日が丘 児童館	緑が丘児 童館	川辺町児童 センター	秋和児童 センター	東塩田児童 センター	大星児童 センター	神科児童 センター	神川児童 センター	月計
4	利用者数(人)	1,514	1,273	1,750	816	744	1,475	2,642	1,353	11,567
	開館日数(日)	25	25	25	25	25	25	25	25	200
	1日平均利用者(人)	60.6	50.9	70.0	32.6	29.8	59.0	105.7	54.1	57.8
5	利用者数(人)	1,407	1,144	1,828	607	809	1,420	2,524	1,553	11,292
	開館日数(日)	24	24	24	24	24	24	24	24	192
	1日平均利用者(人)	58.6	47.7	76.2	25.3	33.7	59.2	105.2	64.7	58.8
6	利用者数(人)	1,312	1,246	1,915	717	1,049	1,402	2,757	1,510	11,908
	開館日数(日)	25	25	25	25	25	25	25	25	200
	1日平均利用者(人)	52.5	49.8	76.6	28.7	42.0	56.1	110.3	60.4	60.0
7	利用者数(人)	1,491	1,533	1,936	682	1,017	1,626	2,605	1,377	12,267
	開館日数(日)	26	26	26	26	26	26	26	26	208
	1日平均利用者(人)	57.3	59.0	74.5	26.2	39.1	62.5	100.2	53.0	59.0
8	利用者数(人)	1,036	1,009	1,159	587	857	1,078	2,137	1,039	8,902
	開館日数(日)	22	22	22	22	22	22	22	22	176
	1日平均利用者(人)	47.1	45.9	52.7	26.7	39.0	49.0	97.1	47.2	51.0
9	利用者数(人)	1,283	1,203	1,689	532	1,059	1,348	2,383	1,189	10,686
	開館日数(日)	24	24	24	24	24	24	24	24	192
	1日平均利用者(人)	53.5	50.1	70.4	22.2	44.1	56.2	99.3	49.5	55.7
10	利用者数(人)	1,364	1,246	1,923	540	1,214	1,310	2,629	1,549	11,775
	開館日数(日)	26	26	26	26	26	26	26	26	208
	1日平均利用者(人)	52.5	47.9	74.0	20.8	46.7	50.4	101.1	59.6	57.0
11	利用者数(人)	1,045	991	1,670	586	1,069	1,187	2,134	1,230	9,912
	開館日数(日)	23	23	23	23	23	23	23	23	184
	1日平均利用者(人)	45.4	43.1	72.6	25.5	46.5	51.6	92.8	53.5	54.0
12	利用者数(人)	1,101	977	1,671	547	1,021	1,322	2,266	1,362	10,267
	開館日数(日)	23	23	23	23	23	23	23	23	184
	1日平均利用者(人)	47.9	42.5	72.7	23.8	44.4	57.5	98.5	59.2	56.0
1	利用者数(人)	709	587	1,126	344	828	1,067	1,968	891	7,520
	開館日数(日)	21	21	21	21	21	21	21	21	168
	1日平均利用者(人)	33.8	28.0	53.6	16.4	39.4	50.8	93.7	42.4	44.8
2	利用者数(人)	936	829	1,529	347	887	1,340	2,340	1,191	9,399
	開館日数(日)	23	23	23	23	23	23	23	23	184
	1日平均利用者(人)	40.7	36.0	66.5	15.1	38.6	58.3	101.7	51.8	51.0
3	利用者数(人)	1,261	1,061	1,389	485	976	1,366	2,511	1,427	10,476
	開館日数(日)	25	25	25	25	25	25	25	25	200
	1日平均利用者(人)	50.4	42.4	55.6	19.4	39.0	54.6	100.4	57.1	52.0
累 計	利用者数(人)	14,459	13,099	19,585	6,790	11,530	15,941	28,896	15,671	125,971
	開館日数(日)	287	287	287	287	287	287	287	287	2296
	1日平均利用者(人)	50.4	45.6	68.2	23.7	40.2	55.5	100.7	54.6	54.9
平成 25年 度 累計	利用者数(人)	12,761	11,484	18,162	6,877	11,073	17,733	27,283	14,493	119,866
	開館日数(日)	288	288	288	288	288	288	288	288	2304
	1日平均利用者(人)	44.3	39.9	63.1	23.9	38.4	61.6	94.7	50.3	52.0
増	利用者数(人)	1,698	1615	1423	-87	457	-1,792	1,613	1,178	6,105
	開館日数(日)	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-8

減	1日平均利用者(人)	6.1	5.7	5.1	-0.2	1.8	-6.1	6.0	4.3	2.8
---	------------	-----	-----	-----	------	-----	------	-----	-----	-----

(2) 丸子地区児童館

開館時間：平日（5月～10月午後3時～午後5時、11月～4月午後3時30分～午後5時30分）

長期休み：午後1時～午後5時（夏休みは午後1時30分～午後5時30分）

下丸子児童館利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数	86	117	92	69	65	74	
開館日数	20	20	21	22	18	20	
1日平均利用者	4.3	5.9	4.4	3.1	3.6	3.7	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	79	62	28	9	34	35	750人
開館日数	22	18	19	17	19	22	238日
1日平均利用者	3.6	3.4	1.5	0.5	1.8	1.6	3.2人

(3) 地域子育て支援拠点事業（連携型、一般型）

「子育てひろば」は、未就園児の親子を対象に子育ての負担感の緩和を図り、安心して子育てができることを目的とした事業であり、上田市からの委託を受け、4か所の子育てひろば（連携型3か所、一般型1か所）を開設し運営している。

地域における子育て支援拠点として、親子で遊んだり、他の親子と交流したり、子育ての悩みなどを相談できる場としてサービスの提供をしており、様々な遊具や遊びの他、保護者のための講座や、親子で楽しめる遊びの講座を毎月1回以上実施した。

また、自治会内の回覧や掲示をして、子育てひろばの利用方法や毎月の講座、ひろばの様子を知らせるなど周知に努め、昨年度より全体でおよそ1,900人利用者が増加した。

子育てひろば職員スキルアップ研修会、救急法講習会、発達障がい研修会に参加し、資質の向上を図った。

今年度は利用者の要望が多かったことから、清明子育てひろばのみ祝祭日の代替日を設定して開催した。

会場・開設日時

会場	開設曜日	開設時間	1日平均利用者数
大星児童センター	火・木・金	9:30～12:30	20.4人
神科児童センター	火・水・木	9:30～12:30	19.7人

東塩田児童センター	月・火・水	9:30～12:30	18.5人
清明子育てひろば	月・水・金	9:30～14:30	18.0人

1 1 児童館事業の評価等

児童が期待を持って来館できるよう、運動や工作の研修を行い、楽しく取り組めるような行事や活動を実施し、児童や保護者に好評であった。利用者アンケートを実施した結果、ほとんどの方が満足しているとの回答であった。

毎月1回、施設内外の安全点検を実施し、危険個所の早期対応に努め、避難訓練の実施や安全管理の研修会、救急法の講習会に参加したり、館長会議の折りにヒヤリハットを報告し対応を検討するなどして安全管理に努め、今年度保険対応の事故は1件であった。

平成24年度から発達障がい児童の対応職員の増員を要求しており、平成24年度1人が認められたが、さらに支援を必要とする児童の来館が増えていることから、毎年予算にあげていた。今年度補正で認められ、7月から1人増員することができた。しかしながら、各館に支援を必要とする児童の来館が増えており、児童館本来の目的、方向性について学校教育課と検討していく必要がある。

地域子育て支援拠点事業については、子育て中の親子が自由に集える場所であるが、周知されていない現状があったため、子育てひろばの様子や講座の予定を自治会の回覧、掲示などで知らせ周知に努めた。地域の方の口添えもあり、全体的に利用が増え、利用して良かった、楽しかった、また利用したいとの感想が聞かれた。

1 2 老人福祉センター事業

(1) 上田市高齢者福祉センター管理事業

上田市高齢者福祉センターは、市内に在住する60歳以上の高齢者の方の生きがいと健康づくりを目的として昭和56年に開設された。平成9年4月1日からは上田市社会福祉協議会が管理運営を行っている。

2階にある展望風呂を楽しみに来館される方が多く、また貸出部屋を利用した各種同好会活動等も盛んに行われている。他にも、高齢者介護課が主催する介護予防体操や上田市視覚障害者福祉協会による針・マッサージコーナー、当館が主催する初級パソコン教室があり、大勢の方々に利用していただいている。

館内では利用者の趣味を生かした各種クラブが32クラブあり、約1,100人の会員が積極的な活動を行い、特に高齢者文化祭や高齢者作品展での発表や作品展示に向けて仲間との交流を図りながら楽しんで取り組んでいる。

また、当センターを主会場に3年間の学習形態で上田市高齢者学園の授業が行われており、卒業後は各種同好会やクラブ活動をはじめ、学んだ知識を地域での活動に役立てている。

ア 利用状況

高齢者の生きがいと健康づくりを目的に多くの皆さんが利用された。

月	利用延人数(人)	開館日数(日)	1日の利用者数(人)
4	8,702	25	348.1
5	7,645	24	318.5
6	8,339	25	333.6
7	7,820	26	300.8
8	7,115	26	273.7
9	7,936	24	330.7
10	9,144	27	338.7
11	7,306	23	317.7
12	6,851	23	297.9
1	6,960	23	302.6
2	6,802	23	295.7
3	7,462	25	298.5
合計	92,082	294	平均 313.2

イ その他事業

- ・高齢者文化祭 10月18日(日)、19日(月) 参加者 1,298人

ウ 利用人数

- ・教養クラブ活動(32クラブ) 参加者 39,418人
- ・高齢者初級パソコン教室 276回 参加者 1,922人
- ・実習生・ボランティア 12回 参加者 67人

(2) 高齢者学園事業

上田市高齢者学園は、高齢者の方の「仲間づくり、健康づくり、生きがいづくり」を目指す学びの場として、様々な学習活動(授業、クラブ、課外、校外)を行うとともに、仲間同士の絆を深めながら、地域での積極的な交流を行った。

また、講義評価アンケートを実施するとともに、学生からの様々な要望や意見を取り入れ、学園生の自発的な学園運営に役立てた。

ア 学生数 1年生 62人、2年生 55人 3年生 36人

イ 講義回数 1年生 12講義、2年生 13講義、3年生 12講義

ウ 研修会 1年生 創造館研修、2年生 松代研修、3年生 長野研修

エ 交流会 1年生 別所温泉、2年生 別所温泉、3年生 真田方面

- オ 研修旅行 1年生 10月7日(火)～8日(水) 静岡県伊豆・稲取温泉
 2年生 9月25日(木)～26日(金) 石川県能登・輪島温泉
 3年生 6月12日(木)～13日(金) 静岡県浜松・焼津温泉
- カ クラブ活動 7種類のクラブ活動を各学年の講義日に設定し(年間7回)学習効果を高めるとともに、三学年合同のクラブ発表会を開催し、ステージ発表や作品展示をとおして活動の成果を確かめ合った。
- キ 運営委員会 第1回運営委員会 11月13日(木)
 第2回運営委員会 2月12日(木)
- ク その他 講義評価アンケートの実施

(3) 上田市丸子老人福祉センター設置管理事業

上田市丸子老人福祉センターは、高齢者の心身の健康の保持のため、健康相談・指導・入浴・休養・レクリエーションなどを行うとともに、文化教養の向上を図るため老人のクラブ活動等を行い、高齢者福祉に総合的に寄与することを目的に昭和54年に開設した。

開設当時より社会福祉協議会の事業として運営されており、老人クラブの活動や高齢者憩いの場所として多くの方に利用されている。

利用状況

月	利用延人数(人)	開館日数(日)	1日平均利用者数(人)
4	2,422	26	89.7
5	2,268	27	84.0
6	2,200	25	88.0
7	2,163	26	83.2
8	1,850	24	77.1
9	2,145	25	85.8
10	2,292	27	84.9
11	2,279	25	91.1
12	1,922	24	80.0
1	1,834	24	76.4
2	2,053	24	85.5
3	2,526	26	97.2
合計	25,954	304	85.4

(4) 上田市真田老人福祉センター管理事業

上田市真田老人福祉センターは、高齢者の健康相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーション等憩いの目的に利用されている。

利用状況

月	利用延人数(人)	開館日数(日)	1日平均利用者数(人)
4	1,108	26	42.6
5	1,054	27	39.0
6	1,013	25	40.5

7	885	27	32.8
8	733	26	28.2
9	944	26	36.3
10	1,041	27	38.6
11	920	25	36.8
12	945	27	35.0
1	1,054	27	39.0
2	1,117	24	46.5
3	1,285	26	49.4
合計	12,099	313	38.7

(5) 上田市武石老人福祉センター管理事業

武石老人福祉センターは、「木工教室」、「松本てまり教室」、「大正琴」などの趣味活動、単位高齢者クラブや各種福祉団体の会議等に利用されている。

利用状況

月	利用延人数(人)	開館日数(日)	1日平均利用者数(人)
4	146	21	6.9
5	81	20	3.0
6	132	21	6.2
7	91	22	4.1
8	138	21	6.5
9	56	20	2.8
10	64	22	2.9
11	57	18	3.1
12	55	19	2.8
1	66	19	3.4
2	59	19	3.1
3	119	22	5.4
合計	1,064	244	4.3

12 老人福祉センター事業の評価等

老人福祉センター事業は、超高齢社会並びに人口減少社会に突入した時代において、高齢者が主体的に社会との関わりを保ちながら、生きがいを持って健康増進を図ることができるための拠点となる施設として有効に活用された。

各クラブ活動においては、趣味や特技を活かしてのボランティア活動が積極的に行われ、地域における社会貢献の模範ともなっている。

また、福祉教育の一環として看護学校をはじめとした実習生や学生ボランティアを受け入れる中で、学生と利用者との貴重な世代間交流の場となり、互いに良好な相互作用がもたらされた。

全体として、センター施設を中心に長寿社会における高齢者の生き方の模範的な活動が行われており、特に健康寿命の増進に貢献しているものと評価できる。

なお、施設の老朽化が進み年々修繕箇所が増えているのが課題となっている。

1 3 生活支援事業

(1) ふれあいバス運行事業

老人センターへの利便を図るため、定期的にふれあいバスを運行している。公共のバス路線では対応できない地域に密着した路線を中心に運行している。

- ・定期運行 毎週 月、水、木、金曜日に真田地域巡回（菅平区は除く）
- ・25人乗りマイクロバス 迎え1回 送り2回の巡回
- ・運休日 毎週 火、土、祝日、お盆（8月13日～16日）
年末年始（12月29日から1月3日）

利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数	578	550	516	449	385	446	
運行日数	17	17	17	17	14	16	
1日平均利用者数	34.0	32.4	30.4	26.4	27.5	27.9	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	553	415	513	546	550	619	6,120
運行日数	18	14	16	15	15	17	193
1日平均利用者数	30.7	29.6	32.1	36.4	36.7	36.4	31.7

(2) 真田生活支援事業

結婚式、お宮参り、葬式等に必要な衣装を有償で貸出をしている。

貸出状況

品名	貸出件数	品名	貸出件数
留袖	7	女性物袴	1
モーニング	5	バック、ぞうり	1
喪服	1		
		合計(件)	15

(3) 在宅介護者リフレッシュ事業

在宅で高齢者を介護している介護者の皆さんが、心身の疲れを癒し、元気の回復を図り、関係機関から相談援助や情報提供を受ける。また、同じ悩みや体験をもつ介護者同士の交流を図ることを目的として実施した。

(1泊2日) ①期 日 平成26年9月18日(木)～19日(金)

場 所 鹿教湯温泉 望山亭ことぶき

参加者 13人

②期 日 平成26年10月30日(木)～31日(金)

場 所 南房総 勝浦ホテル「三日月」

参加者 31 人

(4) 小泉ふれあいホーム事業

この施設は、一人暮らしや日中一人になってしまう高齢者が、家庭的な雰囲気の中でお互い交流することにより、生きがいを高めていただく介護予防を目的とした施設である。

ア 主な事業

- ・高齢者の交流事業（ふれあいサロン）
- ・生きがい活動支援通所事業（生きがい対応型デイサービス事業）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ふれあいサロン	63	69	69	69	47	63	66	59	69	68	80	76	791 人
	8	8	8	8	7	8	8	8	8	8	8	8	95 回
生きがい活動支援	15	11	20	20	21	19	14	14	12	17	13	11	187 人
	4	3	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	46 回

(5) みまもり（声かけ）訪問事業

丸子地区では高齢化、少子化、核家族化社会の中で、一人での暮らしや健康に不安をかかえている高齢者世帯が住み慣れた地域で孤立することなく安心して暮らすことができるよう、ボランティアによるみまもり声かけ訪問を行い、助け合いのしくみづくりを行った。

(ア) 実施内容

登録ボランティアが月 2 回程度利用者宅を訪問し、玄関先や軒先で日常の話をお聞きした。訪問にはチラシ、ボランティアグループが作ったアクリルタワシなどを持参した。

(イ) 対象者

65 歳以上の方のみの世帯または同居されていても日中一人になる方で、介護保険サービスを利用されていない方（登録利用者 20 人）

(ウ) 協力者

みまもり（声かけ）訪問事業登録ボランティア（登録ボランティア 34 人）

(エ) 見守り訪問実績（H25 年 11 月から開始）

*H26 年度丸子地区で実施

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
訪問件数	20	22	25	23	23	27	
訪問ボランティア	40	42	44	30	40	32	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問件数	22	19	18	14	18	18	249
訪問ボランティア	49	29	35	26	36	30	433

1 3 生活支援事業の評価等

丸子地区の独自事業として開始したみまもり（声かけ）事業も2年が経過した。一人での暮らしに不安をかかえている高齢者が孤立することなく安心して暮らすことができるよう、ボランティアによるみまもり声かけ訪問をおこなっているが、生活支援のひとつとして地域の中でも定着してきた。また、訪問日を楽しみに待ってくださる高齢者がいることでボランティアの生きがいがづくりの活動にもなった。課題としては利用者増加時の協力者との調整だが、若手ボランティアを育成する中で対応していきたい。

ふれあいバス運行事業は、昨年度と利用者数を比較してもほとんど差が無く、平均でも30人を超えるほどで地域の方の良い交通手段として利用されています。

生活支援事業は、大切な衣装を大切に保管しいつでも貸し出しが出来る状態にしています。

在宅介護者リフレッシュ事業については、在宅で高齢者を介護している介護者が心身の疲れを癒し、元気の回復を図り、関係機関からの相談援助や情報提供を受けるとともに同じ悩みや体験をもつ介護者同士の交流を図ることを目的として実施した。参加者から宿泊旅行の希望が多くあったため、本年度から日帰りをやめて、1泊の旅行を近辺と遠方でそれぞれ1回ずつ実施したが、遠方の旅行の希望者が多く定員を超えてしまっており対応できていない。

より多くの市民の方に情報が届くように周知方法を検討し、広く在宅介護者が心身の健康を保持し、多くの参加者が得られるよう内容の充実に努めている。

1 4 介護保険事業（公益事業）

平成12年度から介護保険制度が始まり、従来の措置から契約へと大きく様変わりしました。上田市社協も長年培った介護のノウハウを活かして介護保険の事業者として、利用者の自立支援を目指して各種介護サービスを行った。

（1）介護相談センター事業・神川介護相談センター事業・丸子介護相談センター事業

可能な限り住み慣れた居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、心身の状況やおかれている環境等に応じて、常に利用者の立場にたった支援に努めた。

ア 業務内容

- ・介護保険代行（更新・申請含む）
- ・介護に関する相談
- ・ケアプラン作成
- ・サービス担当者会議
- ・サービス計画の実施状況の把握・モニタリング
- ・必要に応じサービス計画の変更、サービス事業者との連絡調整
- ・上田市特例措置制度利用認定利用者の申請代行

- ・認定調査（要支援・要介護認定）及び調査票作成

イ 介護支援専門員

- ・介護相談センター : 正規専任 2 人 嘱託兼務 1 人 嘱託専任 2 人、
臨時専任 2 人 嘱託事務 1 人 … 計 8 人
- ・神川介護相談センター : 正規専任 3 人 臨時専任 1 人 … 計 4 人
- ・丸子介護相談センター : 正規専任 3 人 … 計 3 人

ウ 利用者件数 (単位 件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談センター	184	188	184	189	181	187	184	190	194	182	189	195	2,247
神川介護相談センター	128	120	127	130	129	138	137	138	142	142	143	148	1,622
丸子介護相談センター	102	104	107	109	105	108	111	104	107	105	111	112	1,285
合 計	414	412	418	428	415	433	432	432	443	429	443	455	5,154

エ 認定調査状況 (単位 件) 80

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談センター	2	1	3	2	1	3	2	1	1	0	1	1	18
神川介護相談センター	3	3	4	6	3	3	0	2	5	4	4	2	39
丸子介護相談センター	3	6	5	4	7	4	4	1	4	6	1	1	46
合 計	8	10	12	12	11	10	6	4	10	10	6	4	103

オ ケアプラン作成状況 (単位 件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談センター	168	178	181	190	188	180	183	177	182	170	170	174	2,141
神川介護相談センター	117	114	120	122	119	122	127	132	134	136	128	132	1,503
丸子介護相談センター	102	96	102	110	107	105	107	103	105	104	109	110	1,260
合 計	387	388	403	422	414	407	417	412	421	410	407	416	4,904

カ 住宅改修費理由書作成にかかる事務手続状況 (単位 件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神川介護相談センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
丸子介護相談センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

キ 介護保険利用料貸付金

介護保険のサービスを利用する方で、償還払いとなるサービス（住宅改修費、福祉用具購入費等）を利用している方に貸し付ける制度である。

資金種類	相談件数	貸付件数	貸付総額
------	------	------	------

介護保険利用料貸付金	2件	2件	91,800円
------------	----	----	---------

1 4 介護保険事業（公益事業）の評価等

平成 12 年の介護保険法の施行以降、中立公正な立場で 3 居宅介護相談センターの運営を行い市民からの相談に迅速に対応してきました。

利用者が在宅において生活するため一人ひとりの状況を的確に把握し、利用者本位のケアプランを作成し、関係機関や家族との連携を図り、利用者の尊厳を尊重し、住み慣れた地域で生活が保持できるように支援してきました。

利用者への円滑なサービス提供を行うため職員の資質向上に努めました。

今後、介護保険事業を展開する上でも選ばれる事業所を目標に利用者の確保に努めたい。

1 5 施設管理事業

（1）ふれあい福祉センター管理事業

ふれあい福祉センターは、旧上田郵便局舎を改修し、障がい者の社会参加の支援、市民のボランティア活動への参加を積極的に促進するとともに、市民と高齢者、ボランティアの交流を推進することを目的に平成 11 年 11 月 15 日にオープンし、福祉の拠点として多くの方が利用された。

利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用延べ人数	2,472	3,077	3,426	2,332	2,089	2,527	
日数	30	31	30	31	31	30	
1日平均利用者	82.4	99.3	114.2	75.2	67.4	84.2	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数	2,402	3,100	2,214	2,264	2,792	2,320	31,015人
日数	31	30	28	28	28	31	359日
1日平均利用者	77.5	103.3	79.1	80.9	99.7	74.8	86.4人

（2）真田総合福祉センター管理事業

真田総合福祉センターは、地域の多くの方に利用していただける施設です。障がい者及び高齢者の社会参加を支援するとともに、市民のボランティア活動への参加を積極的に推進することを目的としている。また多くのクラブ活動に利用されている。

開館日：火曜日の夜間を除く毎日

開館時間：午前 9 時～午後 9 時 30 分

利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用延べ人数	1,108	1,239	1,374	1,962	1,441	2,196	
日数	30	31	30	31	31	30	
1日平均利用者	36.9	40.0	45.8	63.3	46.5	73.2	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数	1,608	1,335	1,145	979	1,127	1,096	16,520人
日数	31	30	28	28	28	31	359日
1日平均利用者	51.9	44.5	40.9	35.0	40.3	35.4	46.1人

(3) 真田地域活動センター管理運営事業

障がい者及び高齢者が民芸品の自主制作に取組み、生産意欲を持って健康で楽しく働き、社会生活の適応性を高めることを目的に利用されている。

開館日：月曜日～土曜日（ただし、お盆、年末年始、祝日休館）

利用者：13人（身障者5人 高齢者8人）

(4) 長瀬市民センター管理事業

長瀬市民センターは、市からの受託事業で、市民の福祉の増進に寄与することを目的として、会場の貸し出し等の管理運営を行い、市民に広く利用されている。

平成26年12月から平成27年2月にかけて、上田市が全館耐震改修工事及び大ホールと和室にエアコン設置工事を行った。

利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用延人数	1,322	1,123	1,276	991	1,166	1,337	
開館日数	24	24	26	24	25	22	
1日平均利用者数	55.1	46.8	49.1	69.2	41.3	60.8	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延人数	1,124	1,172	0	0	0	1,005	10,149人
開館日数	26	25	0	0	0	26	221日
1日平均利用者数	43.3	46.9	0	0	0	38.7	45.9人

1 5 施設管理事業の評価等

地域の方々をはじめ、ボランティアやNPO法人、福祉団体の方々の定例会や活動の場として、幅広く利用されたり、その活動促進につながっている。また、障がい者や高齢者の社会参加支援の場としての役割と共にボランティアとの交流の場ともなっており、利用者の要望に応え、安全に気持ちよく使っていただけるよう努めている。

建物の老朽化もあり施設修繕が増えてはいるが修繕についても的確に実施している。本年度は、社会福祉協議会、自治会連合会、民生委員・児童委員協議会、ボランティア連絡協議会、高齢者クラブ連合会、身体障害者福祉協会連合会、シルバー人材センターの連名で上田市と上田市議会に総合福祉センター建設に関する陳情し、市議会からは採択をいただいた。

1 6 その他の事業

(1) 児童福祉

〈丸子地区センター〉

ア 子育て中の母親、父親を対象に、子どもの発達段階に応じて教室等を開催することにより、子育て支援を行う。

ベビーマッサージ教室	2回開催	参加者 18組
ベビードダンス教室	2回開催	参加者 46組
パステルアート体験講座	2回開催	参加者 10組

(2) 高齢者福祉

〈上田地区センター〉

ア 上田地域福寿クラブ連合会

(ア) 高齢者クラブ数 43 単位クラブ 2,700 人

(イ) 会議、行事等

・平成 25 年度福寿クラブ会計監査	4 月 7 日 (月)
・新年度総務教養部・女性部会議	4 月 8 日 (火)
・新年度理事会・代議員会	4 月 11 日 (金)
・表彰審査委員会	5 月 7 日 (水)
・県老連東信地区ブロック研修会	6 月 4 日 (水)
・第 30 回福寿クラブ定期大会	6 月 12 日 (木)
・第 22 回シルバースポーツ大会	6 月 20 日 (金)
・福寿連指導者研修会	6 月 30 日 (月)
・長野県老連主催女性指導者研修会	7 月 16 日 (水)

- ・ファミリースポーツ大会 8月10日(日)
- ・福寿クラブ理事会 8月26日(火)
- ・茨城県小美玉市老連との交流会 9月2日(火)、3日(水)
- ・紙おむつ配布 9月11日(木)、12日(金)
- ・第22回福寿クラブゲートボール大会 9月19日(金)
- ・第36回うえだ市民ふれあい広場 10月4日(土)
- ・福寿だより編集委員会 10月6日(月)
- ・赤い羽根共同募金運動参加 10月7日(火)
- ・人権を考える市民のつどい 10月9日(木)
- ・第55回長野県老人クラブ大会 10月16日(木)
- ・福寿だより編集委員会 10月20日(月)
- ・第16回福寿クラブマレットゴルフ大会 10月24日(金)
- ・福寿だより編集委員会 10月27日(月)
- ・福寿だより第70号発行 11月1日(土)
- ・人権啓発担当者研修会 11月1日(土)
- ・高齢者マレットゴルフ大会 11月7日(水)
- ・男性料理教室補助員事前講習会 11月25日(火)
- ・男性料理教室(市内公民館7か所開催) 11月28日(金)～12月11日(木)
- ・上田市高連正副会長会 12月10日(水)
- ・上田市高連正副会長会 12月19日(金)
- ・市長表敬訪問 1月6日(火)
- ・上田市高連正副会長会 1月6日(火)
- ・福寿クラブ正副会長会 1月27日(火)
- ・シルバースポーツ教室 1月29日(木)～2月13日(金)
- ・福寿だより編集委員会 2月4日(水)
- ・福寿クラブ理事会 2月16日(月)
- ・福寿だより編集委員会 2月17日(火)
- ・福寿だより編集委員会 2月24日(火)
- ・福寿だより71号発行 3月1日(金)
- ・ファミリースポーツ大会 3月24日(火)
- ・金婚祝賀事業 通年事業 32組
- ・初級、中級パソコン教室の実施

〈丸子地区センター〉

ア いきいきフェスティバル

身近な地域において支えあい、ともに生きる社会の実現に向け皆で考え、実践することを目的として、丸子地域高齢者クラブ連合会、丸子地域健康推進委員会、丸子ボランティア連絡協議会との実行委員会形式により、市の慶祝行事と併せて開催する。

6月27日（金）、28日（土） 丸子文化会館 参加者 634人

記念写真（喜寿、米寿、白寿、長寿、金婚） 67組

イ 丸子地域高齢者クラブ連合会

（ア）高齢者クラブ数 33 単位クラブ 1,544人

（イ）会議、行事等

- ・理事会、会計監査 4月15日（火）
- ・丸子地域高齢者クラブ連合会総会 4月21日（月）
- ・県老連東信地区ブロック研修会 6月4日（水）
- ・理事会 6月20日（金）
- ・会長会（高齢者の交通安全及び特殊詐欺講話） 6月20日（金）
- ・いきいきフェスティバル（シルバー作品展） 6月27日（金）、28日（土）
- ・県老連東信地区女性指導者研修会 7月16日（水）
- ・理事会 9月16日（火）
- ・第19回丸子地域シルバースポーツ大会 9月30日（火）
- ・人権を考える市民のつどい 10月9日（木）
- ・第55回長野県老人クラブ大会 10月16日（木）
- ・上田市社会福祉大会 11月5日（水）
- ・上田市高齢者クラブ連合会マレットゴルフ大会 11月7日（金）
- ・視察研修会（氷見市老人クラブとの交流会他） 11月19日（水）、20日（木）
- ・冬季スポーツ交流会（全4回） 11月24日（月）、25日（火）
3月9日（月）、10日（火）
- ・東信地区リーダー研修会 2月26日（木）、27日（金）
- ・理事会 3月18日（水）
- ・まるこ高連だより（年3回発行）

（ウ）丸子赤十字奉仕団

- ・ 施設・病院ボランティア
 - ベルポートまるこ 月1回のお茶、散歩介助などのボランティア活動
 - 夏祭りボランティア
 - 鹿教湯病院病院 病院祭の介助ボランティア
- ・鹿教湯病院病院祭にてボランティア活動 6月14日（土）
- ・いきいきフェスティバル2014 6月28日（土）

- ・丸子地区赤十字奉仕団視察研修会 7月15日(火)
長野県危機管理部危機管理防災課および県警指令室
- ・上田市防災訓練 旧丸子地区において炊き出し訓練 8月30日(土)
ハゲックス包装食袋にて500食提供
- ・一円玉募金運動 11月～12月

〈真田地区センター〉

ア 一人暮らし老人親睦会の開催

- ・役員会 5月16日(金) 一年間の計画を策定 参加者9人 真田老人センター
- ・親睦会 6月30日(月) 劇団「コンぼこ座」による悪徳商法の被害にあわな
いための劇を観賞 参加者43人
- ・ふれあいの旅 10月3日(金)「湯楽里館」東御市 参加者42人
- ・交流会 3月11日(水) 視覚障がい者 古市 正雄氏によるトークショー
参加者46人 真田老人センター

イ 真田地域長寿会

(ア) 高齢者クラブ数 26 単位クラブ

(イ) 会議、行事等

- ・第13回新緑ゲートボール大会 4月22日(火)
- ・第55回 総会 5月14日(水)
- ・東信地区市町村老人クラブブロック研修会 6月4日(水)
- ・第34回長寿会長杯ゲートボール大会 6月17日(火)
- ・第63回マレットゴルフ大会 6月24日(火)
- ・女性指導者研修会 7月16日(水)
- ・女性部長会(伝達講習会含) 7月23日(水)
- ・第64回マレットゴルフ大会 8月5日(火)
- ・金婚祝いお届け 9月12日(金)
- ・ふれあい広場に参画 9月13日(土)
- ・第37回体育祭 10月2日(木)
- ・第33回さわやかゲートボール大会 10月7日(火)
- ・第65回マレットゴルフ大会 10月15日(水)
- ・長野県老人クラブ大会 10月16日(木)
- ・にこにこ健康教室 10月22日(水)
- ・視察研修旅行 山形県酒田市 11月5日(水)、6日(木)
- ・上田市高齢者クラブ連合会マレットゴルフ大会 11月7日(金)
- ・みんなの生活展参加 11月15日(土)
- ・東信地区リーダー研修会 2月26日(木)、27日(金)
- ・第5回高齢者の健康を考えるつどい 3月10日(火)
講演会 「おだやかな人生の終わり方」
講師 上田保健福祉事務所所長 長棟 美幸氏 参加者135人
- ・他役員会、理事、監事、地域長寿会、女性部長会 7回開催
- ・伝承広場の開催

5月22日(木)菅平小学校、6月17日(火)本原小学校
10月3日(金)傍陽小学校、10月14日(火)長小学校

<武石地区センター>

ア 高齢者サロン事業

高齢者サロン(楽しい会)を4月から23回(内、介護予防体操を11回含む)、延べ1,175人参加した。また、ボランティアメンバーの方も参加願ひ地域住民の交流の場を作ることができた。

イ 高齢者弁当宅配事業

民生児童委員の協力を得て65歳以上の一人暮らしの方を対象に季節感のあふれる弁当を配ることで一人暮らしの中に生活の楽しさを味わってもらうことを目的に実施

実施日 12月17日(水)

配食数 102食

利用料 無料

ウ 敬老会

武石地域全体で65歳以上の方を対象として、社会への貢献に感謝し長寿を祝い今後の健勝を願って実施

日 時 9月13日(土)

会 場 武石公民館

出席者 247人

エ 武石高齢者クラブ連合会事務局

- ・地区高齢者クラブ数 15クラブ 会員713人
- ・長野県老人クラブ連合会県ブロック研修会 6月4日(水)3人
- ・老人センター寿楽荘庭手入れ 6月20日(金)9月19日(金)179人
- ・女性部指導者研修会 7月16日(水)2人
- ・マレットゴルフ大会 8月28日(木)70人
- ・県大会(前日準備・当日) 10月15日(水)16日(木)延べ16人
- ・保育園児との交流 11月7日(金)20人
- ・上田市マレットゴルフ大会 11月7日(金)15人
- ・ニュースポーツ大会 1月27日(火)38人
- ・研修会 2月19日(木)20日(金)13人
- ・高齢者福祉施設の洗濯物たたみ(女性部) 5月~10月 12回 延べ39人

オ 一人暮らし老人もみじ会事務局

・春の研修会 7月8日(火)、9日(水)

・秋の研修会 10月28日(火)、29日(水)

(3) 障がい者福祉

ア 車いす貸出し事業

介護保険の福祉用具貸与対象外の高齢者、障がい者等が通院、外出等で必要な場合、1か月をめぐりに無料で貸出した。

地区		上田	丸子	真田	武石
貸出件数	26年度	191件	55件	27件	7件
	25年度	136件	62件	13件	1件
利用者数	26年度	191人	55人	27人	7人
	25年度	136人	62人	10人	1人
保有台数		30台	26台	20台	11台

イ 特殊寝台貸与事業

介護保険の福祉用具貸与対象外の高齢者、障がい者等が一時的に日常生活を営むことが困難になった場合、3か月をめぐりに無料で貸出した。

地区		上田	丸子	真田	武石
貸出件数	26年度	2件	2件	1件	3件
	25年度	3件	2件	0件	3件
保有台数		4台	2台	1台	4台

<上田地区センター>

ア 上小圏域障害者総合支援センターとの協力と連携

- ・上小地域障害者自立生活支援センター「ウィング」
- ・上小地域就業・生活支援センター「シェイク」
- ・地域活動支援センター「やすらぎ」

イ NPO 法人上田市身体障害者福祉協会等、障がい者団体への協力援助と連携

<真田地区センター>

ア 真田町身体障害者福祉協会

- ・総会 4月24日(木)
- ・第40回上小地区障害者スポーツ大会 5月24日(土)
- ・視察研修(松本市) 7月7日(月)、8日(火)
- ・第65回長野県身体障害者福祉大会 8月28日(木)
- ・第27回ふれあい広場参加 9月13日(土)
- ・上田市身体障害者福祉協会連合会第8回ゲートボール交流会 9月21日(土)
- ・第5回上田市身体障害者福祉協会連合会マレットゴルフ親睦会 10月19日(日)
- ・上田市身体障害者福祉協会連合会第9回ゲートボール交流会 11月9日(土)

〈武石区センター〉

ア 武石身体障害者福祉協会事務局

- ・ 第 40 回上小地区障害者スポーツ大会 5 月 24 日 (土)
- ・ 研修会 7 月 8 日 (火)、9 日 (水)
- ・ 上田市身体障害者福祉協会連合会第ゲートボール交流会 10 月 25 日 (金)

(4) 団体事業の育成

各種福祉団体事業を推進するため、協力費として活動費を助成し、団体育成に努めた。

上田地区 活動費助成団体

団体名	助成金額	団体名	助成金額
うえだ市民ふれあい広場実行委員会	200,000 円	上田市聴覚障害者協会	130,000 円
上田市子ども会育成連絡協議会	140,000 円	上田地区更生保護女性会	250,000 円
上田市視覚障害者福祉協会	130,000 円	上田地区保護司会	120,000 円
上田市肢体不自由児・者父母の会	100,000 円	上田市赤十字奉仕団	100,000 円
NPO 法人上田市身体障害者福祉協会	280,000 円	絵手紙サークルひまわり	50,000 円
上田市手をつなぐ育成会	120,000 円	上小手話サークル	130,000 円
上田ボランティア連絡協議会	150,000 円	モチーフの会	70,000 円
上田地域福寿クラブ連合会	300,000 円	でんでん虫の会	281,000 円
豊殿地区循環バス運営委員会	300,000 円	上田明照会 甘露保育園	53,000 円
ハッパルリンビクス日本長野上田プログラム	170,000 円	のびのび保育のすくすく園	80,000 円
上田市学童保育連絡協議会	200,000 円	NPO 法人子育て応援団ぱれっと	210,000 円
		合計 22 団体	3,564,000 円

丸子地区 活動費助成団体

丸子地域高齢者クラブ連合会	300,000 円	丸子ボランティア連絡協議会	150,000 円
上田市丸子身体障害者福祉協会	300,000 円	傾聴ボランティア・まるこ	80,000 円
丸子モチーフの会	50,000 円	丸子地域食生活改善推進協議会	30,000 円
E キャップの会	30,000 円	合計 7 団体	940,000 円

真田地区 活動費助成団体

真田地域長寿会	50,000 円	障害のある人家族会	23,000 円
真田町身体障害者福祉協会	80,000 円	おもちゃ図書館くるくるさなだ	30,000 円
託児グループ子てまりの会	10,000 円	信州真田六文銭太鼓	20,000 円
たまた箱 (パネルシアター)	20,000 円	真田地域赤十字奉仕団	40,000 円
ミミールの会 (民話紙芝居)	15,000 円	大福会 (茶道普及の会)	20,000 円
おとぎの会 (朗読の会)	20,000 円	真田地域ボランティア連絡協議会	100,000 円
真田地域食生活改善推進協議会	50,000 円	ふれあい広場実行委員会	50,000 円
		合計 14 団体	528,000 円

武石地区 活動費助成団体

武石地域高齢者クラブ連合会	200,000 円	武石身体障害者福祉協会	50,000 円
もみじ会 (1人暮らし老人の会)	100,000 円	ボランティア連絡協議会	20,000 円
		合計 4 団体	370,000 円

(5) その他

○シルバー人材センターとの連携

- ・ 総会 5月23日 (金)
- ・ 理事会 5月14日 (水)、6月20日 (金)、7月24日 (木)、8月27日 (水)、
9月2日 (火)、11月26日 (水)、1月29日 (木)、2月27日 (金)、
3月24日 (火)

○遺族会事務局

- ・ 役員総会 4月8日 (月)
- ・ 靖国神社参拝 4月18日 (木)、19日 (金)
- ・ 全国戦没者追悼式 8月15日 (木)
- ・ 第61回長野県遺族大会 10月22日 (火)
- ・ 平成26年度長野県戦没者追悼式 10月23日 (水)
- ・ 長野県護国神社参拝 10月3日 (木)
- ・ 上田市戦没者遺族大会・追悼式 11月7日 (水)
- ・ 「戦没者への追憶」の発刊